業績目録

2025/1/27
中嶋　啓雄

Academic Papers　　h-index：26

A）著書（英語/日本語）

1. Current topics in microbiology and immunology
   Springer Verlag
   Pathways for Cytolysis
   第 5 章：Degranulating cytotoxic lymphocytes inflict multiple damage pathways on target cells ; 75-93.
   P.A. Henkart, M.A. Williams and **H. Nakajima**　(1995)

2. Techniques in Apoptosis
   Portland Press
   第 9 章：Assessment of target cell death induced by cytotoxic lymphocyte ; 175-190
   ED by T.G. Cotter and S.J. Martin
   H. Nakajima, R. Lichtenfels, R. Martin and P.A. Henkart　(1996)

3. Molecular and Genetic Approaches to Diseases -Immunology, Hematology, Oncology-
   Kyushu University Press
   第 16 章：ANTISENSE THERAPY FOR RHEUMATOID ARTHRITIS ; 123-140.
   ED by N. Niho
   H. Sano, A. Hashiramoto, Y. Kawahito, R. Yamada, **H. Nakajima** and M. Kondo　(1998)

4. 腎移植における免疫抑制療法
   日本医学館
   PART Ⅱ：投与法
   維持免疫抑制剤　4.　アザチオプリン ；110-124.
   高橋公太　編
   中嶋啓雄、安村忠樹、岡隆宏　(1998)

5. 臓器移植実験マニュアル
   秀潤社
   第 2 部：実際の移植手技
   第 9 章：血管　ラット血管移植　を担当（共）　175-178.
   野澤眞澄　編
   中嶋啓雄、水田成彦、吉村了勇、片野智子、岡克彦　(1999)

6. 臓器移植実験マニュアル
秀潤社
第 3 部：各臓器の虚血再灌流傷害作製法
第 1 章：心虚血再灌流傷害　を担当(共)　186-188.
野澤眞澄　編
中嶋啓雄、水田成彦、吉村了勇、岡克彦、澤芳樹　(1999)

7. 鏡視下乳腺手術の実際
金原出版株式会社
第 4 章：乳癌に対する鏡視下乳腺切除術
7.　吊り上げ法による鏡視下乳腺円状部切除と広背筋脂肪弁による再建術 ； 126-136.
中嶋啓雄、阪口晃一、沢井清司　(2002)

8. 鏡視下乳腺手術の実際
金原出版株式会社
第 5 章：前哨リンパ節生検
1.　小切開法による Sentinel Lymph Node Biopsy ； 139-145.
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦　(2002)

9. 先端医療シリーズ 21・癌　　乳癌の最新医療
先端医療技術研究所
第 7 章：乳腺内視鏡手術
第 4 節：内視鏡下乳房再建 ； 232-239.
沢井清司、**中嶋啓雄**　(2003)

10. 乳癌の手術
南江堂
Ⅶ：センチネルリンパ節生検
1.　一期的（術中の）センチネルリンパ節生検　；　248-267.
霞富士雄、植野映　編
沢井清司、**中嶋啓雄**　(2005)

11. Knack & Pitfalls 乳腺外科の要点と盲点　第 2 版
文光堂
Ⅱ：乳腺疾患診断の Knack & Pitfalls
3. 触診 ；28-30.
幕内雅敏 監修、霞富士雄　編
中嶋啓雄、沢井清司　(2005)

12. Knack & Pitfalls 乳腺外科の要点と盲点　第 2 版
文光堂
Ⅵ-A：乳房切除の Knack & Pitfalls
9. SNB の併用法 ；229-231.
幕内雅敏 監修、霞富士雄　編
沢井清司、**中嶋啓雄**　(2005)

13. 今日の診療のために　ガイドライン外科診療 2006
日経メディカル開発
婦人科疾患　乳癌；417-418.
沢井清司、**中嶋啓雄**　(2006)

14. よくわかる乳癌のすべて
永井書店
Ⅷ.特別企画 1.乳腺専門医　を担当(共)　515-519.
飯野佑一、園尾博司　編
沢井清司、**中嶋啓雄**　(2006)

15. 乳腺疾患の臨床
金原出版
第 13 章；乳腺疾患の診断と治療—特論
2. 悪性乳腺疾患—6 若年者乳癌の診断と治療　を担当(共)　456-457.
沢井清司、**中嶋啓雄**　(2006)

16. 日本臨床　乳癌ー基礎・臨床研究のアップデート
日本臨床社
Ⅴ. 治療　各論　外科治療　局所麻酔による乳癌根治手術　449-453.
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司　(2007)

17. 最新医学　別冊　新しい診断と治療 ABC51　乳癌　内分泌 5.
最新医学社
Ⅳ. 管理　治療　鏡視下乳房温存手術　166-174.
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一　(2007)

.
18. 乳癌治療の進歩と医療経済. 乳癌診療ハンドブック.
改訂 2 版. 東京：中外医学社　367-386.
中嶋啓雄、藤原郁也　(2009)

B）総説（英語/日本語）

1. 細胞傷害性Ｔ細胞，ナチュラルキラー細胞の機能発現にかかわる酵素および生理活性物
   中嶋啓雄、山口希
   医学のあゆみ　156 (3)　189-193.　(1991)

2. Granzymes, Fas-ligand and Apoptosis(共)
   中嶋啓雄、岡隆宏
   感染・炎症・免疫　25 (4)　14-21.　(1995)

3. CTL によるアポトーシス誘導メカニズム(共)
   中嶋啓雄、岡隆宏、P.A. Henkart
   臨床免疫　28 (1)　127-133.　(1996)

4. CTL による 2 つのアポトーシス誘導機構(共)
   中嶋啓雄、岡隆宏
   医学のあゆみ　176 (12)　753-756.　(1996)

5. 臓器移植とアポトーシス(共)
   中嶋啓雄、岡隆宏
   外科治療　76 (3)　304-310.　(1997)

6. 異種移植の現状と将来—外科治療としての異種移植の可能性—(共)
   中嶋啓雄、藤原郁也、岡隆宏
   外科治療　77 (5)　585-594.　(1997)

7. 移植腎をあきらめるとき(共)
   中嶋啓雄、水田成彦、安村忠樹、岡隆宏
   透析ケア　4 (10)　52-54.　(1998)

8. 新規免疫抑制剤 FTY720 の基礎と臨床応用について(共)
   中嶋啓雄、松田哲朗、水田成彦、藤原郁也、鈴木盛一、岡隆宏
   外科治療　79 (4)　465-469.　(1998)

9. 肝虚血再灌流障害の発生機序における Fas / FasL の役割(共)
   中嶋啓雄、水田成彦、岡克彦、小路武彦、吉村了勇
   臨床免疫　32 (4)　471-477.　(1999)

10. Fas, FasL における免疫染色(共)
    中嶋啓雄、水田成彦、岡克彦、岡隆宏、小路武彦、吉村了勇
    Organ Biology　6 (4)　53-59.　(1999)

11. 心筋虚血再灌流障害の発生機序の解析と新しい治療法の開発(共)
    中嶋啓雄、岡克彦、水田成彦、和田行雄、岡隆宏
    外科治療　80 (6)　1230-1237.　(1999)

12. ARDS における最近の病態解明と治療方法の動向(共)
    橋本悟、北村佳博、上野博司、松田知之、水田成彦、**中嶋啓雄**
    外科治療　83 (2)　187-192.　(2000)

13. わが国におけるセンチネルリンパ節生検の現状と展望(共)
    沢井清司、福田護、**中嶋啓雄**
    外科系連合学会誌　26 (2)　182-187.　(2001)

14. 乳癌に対する化学療法の進歩(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
京都府立医科大学雑誌　110 (7)　627-633.　(2001)

15. 乳癌における低侵襲性手術の現状(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
臨床成人病　31 (10)　1305-1308.　(2001)

16. 乳癌に対するセンチネルリンパ節生検(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
臨床外科　56 (11)　369-373.　(2001)

17. 実験的肝虚血再灌流障害モデルにおける Fas/FasL system の役割(共)
水田成彦、**中嶋啓雄**、小路武彦
医学のあゆみ　199 (10)　743-744.　(2001)

18. 甲状腺癌患者の術後フォローアップ(共)
阪口晃一、中井一郎、**中嶋啓雄**、水田成彦、鉢嶺泰司、牛嶋陽、奥山智緒、沢井清司
臨床外科　57 (6)　739-743.　(2002)

19. Ⅲ．治療　2．乳癌におけるセンチネルリンパ節生検(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、大江信哉、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
臨床雑誌　外科　64 (7)　789-793.　(2002)

20. 乳癌手術の現況とその根拠　9．リンパ節生検：センチネルと低位サンプリング(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、大江信哉、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
日本外科学会雑誌　103 (11)　825-830.　(2002)

21. 細胞診(共)
大江信哉、沢井清司、**中嶋啓雄**
臨床雑誌　外科　64 (12)　1492.　(2002)

22. OR ナースが知っておきたい内視鏡手術 Q&A　3．乳腺外科(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、大江信哉、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、山内しのぶ、宇山珠美、新谷千枝子、東初子
OPE　NURSING　17 (12)　44-48.　(2002)

23. 乳腺の切除標本の取り扱い方(共)
水田成彦、**中嶋啓雄**、鉢嶺泰司、阪口晃一、大江信哉、沢井清司
臨床外科　58 (1)　5-11.　(2003)

24. 乳がん検診の現状(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**
京都府立医科大学雑誌　112 (6)　387-393.　(2003)

25. Sentinel lymph node navigation surgery：乳癌(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
カレントテラピー　21 (7)　28-30.　(2003)

26. センチネルリンパ節生検をめぐる Controversy(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
PRACTICAL ONCOLOGY　16 (2)　5-6.　(2003)

27. 乳癌に対する Sentinel Node Navigation Surgery(共)
中嶋啓雄、阪口晃一、水田成彦、鉢嶺泰司、沢井清司
外科治療　90 (6)　984-989.　(2004)

28. センチネルリンパ節の研究最前線　乳癌(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
癌と化学療法　31 (8)　1271-1274.　(2004)

29. Ⅱ．各論　22．乳腺疾患—マンモグラフィ，超音波検査(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、遠藤登喜子、角田博子
臨床雑誌　外科　66 (12)　1571-1578.　(2004)

30. 特集：乳腺内視鏡外科手術の適応とその限界　乳房再建法(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
日本内視鏡外科学会雑誌　10 (2)　160-164.　(2005)

31. Oncoplastic な視点　根治性と整容性の両立　術後乳房の整容性とは(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**
Mamma～Breast Cancer Update from AstraZeneca～　50　(2005)

32. がん化学療法とアポトーシス(共)
中嶋啓雄、水田成彦、水田充彦、阪口晃一
癌の臨床　51 (7)　45-51.　(2005)

33. 乳癌に対する鏡視下手術の進歩(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
癌と化学療法　32 (9)　1240-1243.　(2005)

34. 微小乳癌の診断法　センチネルリンパ節生検(共)
中嶋啓雄、阪口晃一、水田成彦、沢井清司
臨床と研究　82 (10)　38-42.　(2005)

35. 優しく易しいインフォームド・コンセント(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**
Gentle Surgery　2 (3)　2-3.　(2005)

36. 乳がん検診への超音波検査の正式導入を目指して(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**
GE today in Technology　19　53-5.　(2006)

37. マンモグラフィによる乳癌検診(共)
結縁幸子、沢井清司、**中嶋啓雄**、後藤眞理子、遠藤正浩、西村恒彦
Radiology Frontier　9 (3)　23-26(191-194).　(2006)

38. Thinking Now　患者のニーズとガイドライン症例を探る—5　EBM 重視の立場から(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**
Mamma～Breast Cancer Update from AstraZeneca～　54　(2006)

39. タンパク質間相互作用を標的とした *in silico* 創薬手法によるアポトーシス制御性医薬分子の創薬(共)
中嶋啓雄、田沼靖一
京都府立医科大学雑誌　116 (1)　1-13.　(2007)

40. センチネルリンパ節生検＋鏡視下乳房部分切除術＋広背筋脂肪弁同時再建術(共)
沢井清司、大江麻子、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一
手術　61 (2)　145-149.　(2007)

41. 局所麻酔による乳癌根治手術(共)
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
日本臨床　65 (6)　9-453.　(2007)

42. 乳腺外科における内視鏡手術ー鏡視下乳房温存手術ー（共）
中嶋啓雄、藤原郁也
京都府立医科大学雑誌　116 (8).　(2007)

43. 遠隔成績からみた乳癌に対するセンチネルリンパ節生検の評価（共）
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦
外科治療 97 (4)　415-417.　(2007)

44. 乳癌の治療法ーとくに妊娠・授乳期の診断と治療ー
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、市田美保.
産婦人科治療　95 (5)　497-502.　(2007)

45. センチネルリンパ節生検導入による乳癌治療の変化
中嶋啓雄、藤原郁也、阪口晃一、水田成彦.
外科 70 (4)　389-395.　(2008)

46. 乳がんの分子標的治療
中嶋啓雄、田沼靖一、馬替純二.
科学と生物 47 (6)　382-389.　(2009)

47. Phyllodes Tumor of the Breast
H.Nakajima, H,Hirano, A.Okimura, K.Amaya
Journal of Clinical and Medical Surgery　(2022)

Ｃ）原著論文(英語/日本語)

1. 巨大嚢胞腎の２症例(共)
井岡二朗、沢田克徳、平川一典、**中嶋啓雄**、石橋治昭、田部志郎、小林雅夫、岡隆宏
腎と透析　21 (5)　109-112.　(1986)

2. ラット同種腎移植における，シクロスポリン，HCO-60 レシチン製剤の直接胸管内投与による生着延長効果(共)
中田敏哉、高田寛治、村西昌三、**中嶋啓雄**、中路啓介、安村忠樹、岡隆宏、水野政直
移植　23 (6)　564-570.　(1988)

3. 移植腎機能廃絶症例における社会復帰の現況と再移植(共)
安村忠樹、大森吉弘、相川一郎、吉田隆行、**中嶋啓雄**、岡隆宏
移植　23 (3)　274-280.　(1988)

4. シクロスポリンを投与された腎移植患者におけるサイトメガロウィルス感染症(共)
吉村了勇、岡隆宏、大森吉弘、相川一郎、安村忠樹、中井一郎、松井英、濱島高志、吉田隆行、**中嶋啓雄**、春藤啓介
移植　23 (1)　22-27.　(1988)

5. シクロスポリン使用症例における長期予後と late rejection(共)
安村忠樹、大森吉弘、相川一郎、荒川幸平、吉村了勇、中井一郎、松井英、濱島高志、吉田隆行、**中嶋啓雄**、岡隆宏
移植　23 (2)　193-199.　(1988)

6. Deep neck infection から縦隔洞膿瘍を形成した１例(共)
平川一典、城野晃一、**中嶋啓雄**、井岡二朗、石橋治昭、田部志郎
日本臨床外科学会雑誌　50 (1)　76-80.　(1989)

7. Biochemical monitoring of acute rejection with BLT serine esterase activity(共)
H. Nakajima, K. Arakawa, T. Yasumura, T. Oka
Transplantation Proceedings　21 (1)　1187-1188.　(1989)

8. Inhibitory effect of reversible serine protease inhibitor on cytotoxic lymphocytes(共)
K. Arakawa, **H. Nakajima**, T. Oka
Transplantation Proceedings　21　1152-1153.　(1989)

9. The successful outcome of second kidney transplantation and its contributing factors(共)
T. Yasumura, Y. Ohmori, I. Aikawa, K. Arakawa, N. Yoshimura, I. Nakai, S. Matsui, T. Hamajima, T. Yoshida, **H. Nakajima,** T. Oka
The Japanese Journal of Surgery　19 (2)　163-170.　(1989)

10. BLT(Z-Lys-SBzL)セリンエステラーゼ活性を用いたラット腎移植における拒絶反応の生化学的モニタリング(共)
中嶋啓雄、荒川耕平、吉田隆行、岡隆宏、山口希、今西二郎
医学のあゆみ　150 (8)　553-554.　(1989)

11. K-ras mutation in human carcinoma after kidney transplantation(共)
K. Arakawa, T. Yoshida, **H. Nakajima**, T. Oka
Transplantation　49 (1)　213–215.　(1990)

12. Histopathological studies on acute rejection process of the rat pancreas allografts(共)
I. Nakai, T. Oda, M. Mituo, T. Akami, **H.Nakajima**, K. Arakawa, T. Oka,
Y. Hosokawa, T. Ashiwara
J.Kyoto.Pref.Univ.Med. 99 (7) 873-882. (1990)

13. 肺癌における K-*ras* 遺伝子の点突然変異による活性化の検討(共)
荒川幸平、吉田隆行、**中嶋啓雄**、白方秀二、岡隆宏
Oncologia 23 (1) 79-84. (1990)

14. The biochemical and biological properties of serine esterase induced during allograft rejection(学位論文)
H. Nakajima
J. Kyoto.Pref.Univ.Med. 100 (2) 241-256. (1991)

15. β-endorphin によるラットＴ細胞の活性化の調節(共)
荒川幸平、赤見敏和、岡本雅彦、**中嶋啓雄**、満尾学、中井一郎、岡隆宏
今日の移植 4 (6) 627-630. (1991)

16. 膵液を膀胱にドレナージしたラット膵腎同時移植モデルの作成(共)
中井一郎、小田俊彦、満尾学、赤見敏和、**中嶋啓雄**、荒川幸平、岡隆宏
移植 26 (1) 13-21. (1991)

17. ヒト CD59 抗原の異種細胞保護効果の検討－遺伝子操作の異種移植への応用－
赤見敏和、荒川幸平、**中嶋啓雄**、岡本雅彦、岡隆弘、沢田律子、成戸昌信
移植 26 (suppi) 211-211. (1991)

18. デルタオピオイドリセプターアンダゴニスト(NTI)のラット腎移植における免疫抑制効果
荒川幸平、赤見敏和、**中嶋啓雄**、岡本雅彦、満尾学、中井一郎、岡隆宏、長瀬博、松本修
移植 26(suppi) 218-218. (1991)

19. パーフォリンインヒビター(Perforin Inhibitor:P-1)の精製及びその免疫抑制効果
中嶋啓雄、荒川幸平、赤見敏和、中井一郎、満尾学、岡隆宏、石浦章一、松田潔
移植 26(suppi) 219-219. (1991)

20. 膀胱吻合術式による簡便な移植膵機能評価
中井一郎、小田俊彦、満尾学、岡本雅彦、赤見敏和、**中嶋啓雄**、荒川幸平、岡隆宏
移植 26(suppi) 236-236. (1991)

21. Immunosuppressive effect of d-opioido receptor antagonist on xenogeneic mixed lymphocytes (共)
T. Akami, S. Sawada, K. Arakawa, M. Okamoto, M. Mituo, **H. Nakajima**, T. Oka
Reaction. Transplant. Proc. 24 (2) 485-487. (1992)

22. Cytoprotective effect of CD59 antigen on xentransplantation immunity(共)
K. Arakawa, T. Akami, M. Okamoto, **H. Nakajima,** M. Mituo, T. Oka
Transplantation Proceedings 24 (2) 696-697. (1992)

23. Cytotoxic lymphocyte granzymes trigger a target cell internal disintegration pathway leading to cytolysis and DNA breakdown(共)
H. Nakajima, P.A. Henkart
Journal of Immunology 152 1057-1063. (1994)

24. A protease-dependent TCR-induced death pathway in mature lymphocytes(共)
A. Sarin, **H. Nakajima**, P.A. Henkart
Journal of Immunology 154 5806-5812. (1995)

25. The target cell nucleus is not required for cell mediated granzyme- or Fas-based cytotoxicity(共)
H. Nakajima, P. Golstein, P.A. Henkart
J.Experimental Medicine 181 1905-1909. (1995)

26. Synergistic roles of granzymes A and B in mediating target cell death by rat basophilic leukemia mast cell tumors also expressing cytolysin/perforin(共)
H. Nakajima, H.L. Park, P.A. Henkart
J.Experimental Medicine 181 1037-1046. (1995)

27. Rat Whole Pancreaticoduodenal Allotransplantation Treated with 15-deoxyspergualin Alone and With Splenectomy(共)
I. Nakai, S. Y.himizu, S. Morita, K.Uchiyama, H. Yasui, H. Nakajima, T. Hamashima, N. Yoshimura, T. Yasumura, T.Oka
Transplantation Proceedings 27 (6) 3000-3001. (1995)

28. 腎移植患者における赤血球増多症の発症に関する検討(共)
吉村了勇、岡隆宏、大森吉弘、安村忠樹、中井一郎、濱島高志、中嶋啓雄、安井仁、秋岡清一
移植 30 (5) 480-486 (1995)

29. Prolongation of Xenograft Survival by Soluble Complement Receptor Type 1(sCR1) and Antithrombin-Ⅲ Combination Therapy(共)
I. Fujiwara, H. Nakajima, K. Arakawa, K. Akioka, K. Takeshita, T. Oka
Transplantation Proceedings 28 (2) 685-686. (1996)

30. The Inhibition of T-Cell-Receptor-Induced Fas Ligand Upregulation by Cyclosporine and FK 506(共)
H. Nakajima, T. Oka
Transplantation Proceedings 28 (2) 1052-1055. (1996)

31. 長期透析患者に対する腎移植—第 40 回日本透析医学会ワークショップより—(共)
吉村了勇、岡隆宏、大森吉弘、安村忠樹、中井一郎、濱島高志、中嶋啓雄、安井仁
透析会誌 29 (5) 359-362. (1996)

32. 腎移植患者における妊娠，出産—特にミゾリビン使用例について—(共)
吉村了勇、岡隆宏、大森吉弘、安村忠樹、中井一郎、濱島高志、中嶋啓雄、安井仁
セラピューティック・リサーチ 17 (4) 247-253. (1996)

33. The calcium-dependent cysteine protease calpain is required for tcr-induced fas ligand Upregulation
M-L,Wu, H. Nakajima, E. Takano, Pierre A Henkart
J.Experimental Medicine 182 1805-1809. (1996)

34. Functional Fas and Fas-ligand activities in activated T cells of kidney transplant recipients (共)
H. Nakajima, T. Oka
Transplantation Proceedings 29 2533-2534. (1997)

35. Analysis of biochemical and biological functions of Fas-liganad(FasL) and Fas on activated T cells in allo-immune response (共)
H. Nakajima, T. Oka
Transplantation Proceedings 29 1096-1100. (1997)

36. The DNA-binding activities of NFAT and AP-1 can predict levels of the immunosuppression of kidney transplant recipients (共)
K. Akioka, H. Nakajima, I. fujiwara, T. Matsuda, N. Yoshimura, K. Arakawa, Y. Ohmori, A. Tsujimura, T. Hashimoto-Gotoh, T. Oka
Transplantation Proceedings 29 2302-2306. (1997)

37. Soluble Complement Receptor Type 1 and Antithrombin-Ⅲ Combination Therapy Prolongs Xenogrft Survival: The Role of Thrombin and Prostacyclin in Hyperacute Rejection(共)
I. Fujiwara, **H. Nakajima**, K. Akioka, T. Matsuda, T. Oka
Transplantation Proceedings 29 935-937. (1997)

38. A novel monitoring of immunosuppression in recipients with DNA-binding activity of nuclear factor in activated T cells(共)
K. Akioka, **H. Nakajima**, I. Fujiwara, N. Yoshimura, T. Matsuda, Y. Ohmori, A. Tsujimura, T. Hashimoto-Gotoh, T. Oka
Transplantation Proceedings 29 1172-1173. (1997)

39. Role of natural killer(NK) cells in lethal graft-versus-host disease(GVHD) in rat models(共)
K. Akioka, **H. Nakajima**, T. Oka
Transplantation Proceedings 29 722-724. (1997)

40. Long-term outcome of recombinant INF-α treatment of chronic hepatitis C in kidney transplant recipients(共)
T. Yasumura, **H. Nakajima**, T. Hamashima, I. Nakai, N. Yoshimura, Y. Ohmori, T. Oka
Transplantation Proceedings 29 784-786. (1997)

41. Long-term prognosis of renal transplant surviving for over 10 years, and clinical, renal and rehabilitation features of 20-years successes(共)
T. Yasumura, T. Oka, Y. Nakane, Y. Ohmori, I. Aikawa, N. Yoshimura, N. Yoshimura, I. Nakai, T. Hamashima, **H. Nakajima**, K. Nakamura
Clinical Transplantation 11 387-394. (1997)

42. 腎移植におけるタクロリムスの使用経験(共)
安村忠樹、水田成彦、中村憲司、岡本雅彦、**中嶋啓雄**、濱島高志、中井一郎、吉村了勇、鈴木茂敏、大森吉弘、岡隆宏
今日の移植 10 (3) 443-448. (1997)

43. Perforin/granzymes pathway operates in xenogeneic human antipig cytotoxicity(共)
H. Nakajima, I. Fujiwara, T. Matsuda, N. Mizuta, T. Oka
Transplantation Proceedings 30 76-78. (1998)

44. FTY720 inhibits the mRNA expression of intragraft cytotoxic molecules, leading to cardiac allograft survival(共)
H. Nakajima, E.Sun, N. Mizuta, I. Fujiwara, T. Oka
Transplantation Proceedings 30 2217-2220. (1998)

45. Caspase requirement for the apoptotic death of WR19L-induced by FTY720(共)
T. Matsuda, **H. Nakajima**, I. Fujiwara, N. Mizuta, T. Oka
Transplantation Proceedings 30 2355-2357. (1998)

46. Fas and Fas ligand in discordant xenogeneic antibody-dependent cell-mediated cytotoxicity(共)
I. Fujiwara, **H. Nakajima**, T. Matsuda, N. Mizuta, H. Yamagishi, T. Oka
Transplantation Proceedings 30 2488-2490. (1998)

47. The molecular mechanism of apoptosis induced by xenogeneic cytotoxicity(共)
I. Fujiwara, **H. Nakajima**, H. Yamagishi, T. Matsuda, N. Mizuta, T. Oka
Xenotransplantation 5 50-56. (1998)

48. Fas and Fas ligand interaction: immunological regulation and clinical significances(共)
E. Sun, **H. Nakajima**, T. Oka
J. Kyoto Pref. Univ. Med. 107 (10) 1115-1124. (1998)

49. Alleviation of apoptosis by serum in chinese hamster ovary cells ectopically expressing human Fas antigen(共)
Y.S. Lee, **H. Nakajima**, Y.C. Chang, K.I. Park, Y. Mitsui, J. Magae, K. Saida
Molecules and Cells 8 (3) 272-279. (1998)

50. Effects and limits of renal transplantation in patients with impaired glucose tolerance(共)
I. Nakai, N. Mizuta, K. Nakamura, M. Okamoto, **H. Nakajima**, N. Yoshimura, T. Yasumura, Y. Ohmori, T. Oka
Transplantation Proceedings 30 114-115. (1998)

51. Combination therapy of tacrolimus(FK506) with azathioprine and steroids in renal transplant recipients(共)
N. Yoshimura, T. Oka, Y. Ohmori, T. Yasumura, I. Nakai, T. Hamashima, **H. Nakajima**, M. Okamoto, K. Nakamura, N. Mizuta
Transplantation Proceedings 30 33-35. (1998)

52. The expression and localization of fibloblast growth factor-1 (FGF-1) and FGF receptor-1 (FGFR-1) in human breast cancer(共)
N. Yoshimura, H. Sano, A. Hashiramoto, R. Yamada, **H. Nakajima**, M. Kondo, T. Oka
Clinical Immunology and Immunopathology 89 (1) 28-34. (1998)

53. Inducible Nonlymphoid Expression of Fas Ligand Is Responsible for Superantigen-Induced Peripheral Deletion of T Cells(共)
E. Bonfoco, P.M. Stuart, T. Brunner, T. Lin, T.S. Griffith, Y. Gao, **H. Nakajima**, P.A. Henkart,T.A. Ferguson, D.R. Green
Immunity 9 711-720. (1998)

54. Acute-GVHD(graft-versus-host disease)の発症機序における細胞傷害機構の役割(共)
中嶋啓雄、秋岡清一、藤原郁也、松田哲朗、水田成彦、岡隆宏
今日の移植 11 (4) 507-51. (1998)

55. タクロリムス使用例におけるアザチオプリンからミゾリビンへの変更例について(共)
吉村了勇、岡隆宏、大森吉弘、安村忠樹、中井一郎、**中嶋啓雄**、岡本雅彦、中村憲司、水田成彦
Therapeutic Research 19 (4) 281-284. (1998)

56. 当施設における献腎移植成績と免疫抑制剤の使用法(共)
岡本雅彦、吉村了勇、中井一郎、**中嶋啓雄**、水田成彦、大森吉弘、岡隆宏
今日の移植 11 (6) 785-786. (1998)

57. アポトーシス誘導分子 Fas による抗腫瘍細胞傷害活性増強効果についての検討(共)
藤原斉、**中嶋啓雄**、山岸久一、上田祐二、谷口史洋、藤信明、岡隆宏
Biotherapy 12 (1) 88-90. (1998)

58. Fas 遺伝子導入腫瘍細胞を用いた抗腫瘍効果および IL-12 遺伝子共発現による同効果増強(共)
藤原斉、**中嶋啓雄**、山岸久一、上田祐二、谷口史洋、藤信明、吉村哲規、藤木博、岡隆宏
Biotherapy 12 (5) 695-697. (1998)

59. 腎移植における HBs 抗原陽性症例の検討(共)
水田成彦、**中嶋啓雄**、岡本雅彦、中井一郎、吉村了勇、大森吉弘、岡隆宏
セラピューティック・リサーチ 20 (4) 265-268. (1999)

60. 腎移植術後における CMV 感染症の治療と免疫抑制療法(共)
岡本雅彦、吉村了勇、中井一郎、**中嶋啓雄**、牛込秀隆、阪口晃一、大森吉弘、岡隆宏
今日の移植 12 (6) 620-621. (1999)

61. C-myc Antisense Oligodeoxynucleotides Can Induce Apoptosis and Down-regulate Fas Expression in Rheumatoid Synoviocytes(共)
A. Hashiramoto, H. Sano, T. Maekawa, Y. Kawahito, S. Kimura, Y. Kusaka, R.L. Wilder,H. Kato, M. Kondo, **H. Nakajima**
Arthritis and Rheumatism 42 (5) 954-962. (1999)

62. Elimination of Hyperinsulinemia After Pancreas Transplantation in Rats(共)
I. Nakai, K. Uchiyama, M. Mitsuo, N. Mizuta, M. Okamoto, **H. Nakajima**, N. Yoshimura, Y. Omori, T. Oka
Transplantation Proceedings 31 2010-2011. (1999)

63. FasL Expression on Pig Cells Suppresses Human Natural Killer Cell Mediated-Cytotoxicity(共)
H. Nakajima, I. Fujiwara, T. Matsuda, N. Mizuta, H. Yamagishi, T. Oka, N. Yoshimura
Transplantation Proceedings 31 2704-2706. (1999)

64. Prolongation of Concordant Xenograft Survival by a Newly Developed Drug, FTY720(共)
I. Fujiwara, **H. Nakajima**, T. Matsuda, N. Mizuta, H. Yamagishi, T. Oka.
Transplantation Proceedings 31 2831-2833. (1999)

65. Kidney Transplantation From a Hepatitis B Surface Antigen-Positive Donor to a HBSAG-Negative Recipient(共)
M. Okamoto, N. Yoshimura, I. Nakai, **H. Nakajima**, N. Mizuta, Y. Omori, T. Oka
Transplantation Proceedings 31 2869-2873. (1999)

66. Upregulation of two death pathways of perforin/granzyme and FasL/Fas in septic acute respiratory distress syndrome(共)
S. Hashimoto, A. Kobayashi, K. Kooguchi, Y. Kitamura, H. Onodera, **H. Nakajima**
Am J Respir Crit Care Med. 161 237-243. (2000)

67. Caspase-dependent apoptosis by ectopic expression of E2F-4(共)
Y.C. Chang, **H. Nakajima**, S. Illenye, Y.S. Lee, N. Honjo, T. Makiyama, I. Fujiwara, N. Mizuta, K. Sawai, K. Saida, Y. Mitsui, N.H. Heintz, J. Magae
Oncogene 19 4713-4720. (2000)

68. 乳腺の輸出リンパ流からみたセンチネルリンパ節生検の理論(共)
沢井清司、藤井宏二、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、牛嶋陽
乳癌の臨床 15 (1) 5-10. (2000)

69. 鏡視下乳腺部分切除と広背筋脂肪弁による同時再建術(共)
中嶋啓雄、阪口晃一、水田成彦、沢井清司
外科治療 83 (6) 678-683. (2000)

70. Analysis of Granzyme B and Caspases Pathway in Xenogeneic Cytotoxicity(共)
H. Nakajima, I. Fujiwara, N. Mizuta, K. Sakaguchi, H. Yamagishi
Transplantation Proceedings 32 932-934. (2000)

71. Bcl-2 Expression in Pig Cells Suppresses the Apoptosis Caused by Human Perforin/Granzymes- or FasL/Fas-Mediated Cytotoxicity (共)
I. Fujiwara, **H. Nakajima**, N. Mizuta, K. Sakaguchi, N. Yoshimura, H. Yamagishi, T. Oka
Transplantation Proceedings 32 941-942. (2000)

72. ARDS における最近の病態解明と治療方向の動向(共)
橋本悟、北村佳博、上野博司、松田知之、水田成彦、**中嶋啓雄**
外科治療 83 (2) 187-192. (2000)

73. Estrogen protects neuronal cells from amyloid β-induced apoptotic cell death(共)
T. Hosoda, **H. Nakajima**, H. Honjo
NEURO REPORT　12 (9)　1965-1970.　(2001)

74. 広背筋脂肪弁を用いた再建術(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一
日本内視鏡外科学会誌　6 (1)　56-60.　(2001)

75. Anti-HER2 antibody (Herceptin)と Paclitaxel (Taxol)を併用した進行再発乳癌の治療経験(共)
中嶋啓雄、阪口晃一、水田成彦、沢井清司
Biotherapy　15 (3)　336-339.　(2001)

76. Paclitaxel の primary chemotherapy が有効であった局所進行乳癌の 1 例(共)
水田成彦、沢井清司、阪口晃一、**中嶋啓雄**
外科治療　84 (6)　1049-1052.　(2001)

77. Fas/FasL-dependent apoptosis of alveolar cells after lipopolysaccharide-induced lung injury in mice(共)
Y. Kitamura, S. Hashimoto, N. Mizuta, A. Kobayashi, K. Kooguchi, I. Fujiwara, **H. Nakajima**
Am J Respir Crit Care Med　163 (3)　762-769.　(2001)

78. 乳癌の低侵襲手術(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
癌と化学療法　28 (8)　1063-1070.　(2001)

79. 両側乳腺悪性リンパ腫の 1 例(共)
石井博道、**中嶋啓雄**、阪口晃一、水田成彦、沢井清司、樋野陽子、真崎武、土橋康成
京都府立医大雑誌　110 (9)　845-849.　(2001)

80. 術前における良悪性診断が困難であった乳腺 adenomyoepithelioma の１例(共)
阪口晃一、**中嶋啓雄**、水田成彦、沢井清司、樋野陽子、真崎武、土橋康成
乳癌の臨床　16 (4)　393-397.　(2001)

81. 抗 C-erbB２抗体が著効した進行再発乳癌の 1 例(共)
阪口晃一、**中嶋啓雄**、鉢嶺泰司、水田成彦、沢井清司
手術　56 (1)　79-82.　(2002)

82. 乳癌の day surgery —局所麻酔下の wide excision + sentinel node biopsy—(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、大江信哉、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
日本外科系連合学会誌　27 (2)　173-179.　(2002)

83. 局所麻酔下の Day Surgery による乳癌根治術の実際(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
臨牀と研究　79 (3)　39-43.　(2002)

84. 乳房撮影用 X 線装置 SEPIO Prime の Max Vision 使用経験(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**
MEDICAL NOW　49　11-16.　(2002)

85. Different Mechanisms for Membrane and Nuclear Damages in Apoptosis Induced by an Immunosuppressant, FTY720(共)
H. Nakajima, Y.S. Lee, T. Matsuda, N. Mizuta, J. Magae
Molecules and Cells　14 (3)　332-338.　(2002)

86. Section 5. Breast
Video-assisted total glandectomy and immediate reconstruction for breast cancer(共)
H. Nakajima, K. Sakaguchi, N. Mizuta, T. Hachimine, S. Ohe, K. Sawai
BIOMEDICINE & PHARMACOTHERAPY 56 205-208. (2002)

87. 局所麻酔下の Day Surgery による乳腺部分切除＋センチネルリンパ節生検(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、大江信哉、水田成彦、阪口晃一
手術 57 (1) 1-6. (2003)

88. 乳癌検診における超音波の有効性(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、角田博子、東野英利子
Digital Medicine 4 (3) 62-63. (2003)

89. 吊り上げ法による内視鏡下乳腺切除術と広背筋脂肪弁による同時再建法(共)
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
臨床外科 58 (9) 1165-1171. (2003)

90. Elimination of Cell-cycle Regulators during Caspase-3-dependent Apoptosis Caused by an Immunosuppressant, FTY720(共)
YS. Lee, **H. Nakajima**, M. Tsuruga, J. Magae
Biosci. Biotechnol. Biochem. 67 (3) 467-474. (2003)

91. Characterization of 4-O-methyl-ascochlorin-induced apoptosis in comparison with typical apoptotic inducers in human leukemia cell lines(共)
M. Tsuruga, **H. Nakajima**, S. Ozawa, M. Togashi, Y.C. Chang, K. Ando, J. Magae
Apoptosis 9 (4) 429-435. (2004)

92. 乳癌に対する鏡視下乳房温存手術（304 例）の検討—長期成績と今後の展開—(共)
中嶋啓雄、阪口晃一、水田成彦、鉢嶺泰司
外科治療 32 (5) 43-49. (2005)

93. Selective cytotoxicity of ascochlorin in ER-negative human breast cancer cell lines(共)
K. Sakaguchi, **H. Nakajima**, N. Mizuta, C. Furukawa, S. Ozawa, K. Ando, Y.C. Chang, H. Yamagishi, J. Magae
Biochemical and Biophysical Research Communications 329 47-50. (2005)

94. Multifocal intraportal invasion of breast carcinoma diagnosed by laparoscopy-assisted liver biopsy(共)
T. Nakajima, S. Sekoguchi, T. Nishikawa, H. Takashima, T. Watanabe, M. Minami, Y. Itoh, N. Mizuta, **H. Nakajima**, T. Mazaki, A. Yanagisawa, T. Okanoue
World Journal of Gastroenterology 11 (15) 2360-2363. (2005)

95. A Case of Non-Metastatic Giant Mucinous Carcinoma of the Breast(共)
Y. Mizuta, N. Mizuta, K. Sakaguchi, Y. Hachimine, K. Sawai, K. Urasaki, S. Yasukawa,**H. Nakajima**
Breast Cancer 12 (4) 337-340. (2005)

96. 乳癌に対する鏡視下乳房温存手術(共)
中嶋啓雄、沢井清司、阪口晃一、水田成彦、藤原郁也、鉢嶺泰司、小林文、中務克彦
臨床雑誌 外科 68 (8) 908-916. (2006)

97. TS-1 と Trastuzumab との併用療法が奏効した多剤耐性再発乳癌の１例(共)
中嶋啓雄、水田成彦、水田充彦、中務克彦、小林文、鉢嶺泰司、阪口晃一、藤原郁也、沢井清司
癌と化学療法 33 (9) 1305-1308. (2006)

98. マンモグラフィでカテゴリー5 と診断された顆粒細胞腫の 1 例(共)
中務克彦、**中嶋啓雄**、沢井清司、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、小林文、小西英一、柳沢昭夫
日本乳癌検診学会誌　15 (3)　290-293.　(2006)

99. 京都府に住む婦人のマンモグラフィ検診受診率を 50%にするプロジェクト(共)
中嶋啓雄、蔭山典男、沢井清司、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、西田直子
日本乳癌検診学会誌　16 (1)　38-43.　(2007)

100. 若年性乳癌対する治療成績から解析した早期発見の重要性
水田成彦、藤原郁也、阪口晃一、鉢嶺泰司、市田美保、中務克彦、**中嶋啓雄**
日本乳癌検診学会誌 16(3)　409-409　(2007)

101. Immunosuppressive Activity of 4-*O*-Methylascochlorin(共)
M. Tsuruga, **H. Nakajima**, J. Magae
The Journal of Antibiotics　60 (1)　20-26.　(2007)

102. Apoptosis and inactivation of the PI3-kinase pathway by tetrocarcin A in breast cancers(共)
H. Nakajima, K. Sakaguchi, I. Fujiwara, M. Mizuta,M. Tsuruga,J.Jungi,　N. Mizuta
Biochemical and Biophysical Research Communications　356 (1)　260-265.　(2007)

103. 乳癌細胞に対する Vinorelbine のアポトーシス誘導機序(共)
中嶋啓雄、阪口晃一、水田成彦、藤原郁也、早川あけみ、馬替純二
癌と化学療法　34 (4)　583-588.　(2007)

104. Ascofuranone Suppresses PMA-mediated matrix metalloproteinase-9 gene activation through the Ras/Raf/MEK/ERK and Ap1-dependent mechanisms(共)
H.J. Cho, J.H. Kang, J.Y. Kwak, T.S. Lee, I.S. Lee, N.G. Park, **H. Nakajima**, J. Magae, Y.C. Chang
Carcinogenesis　28 (5)　1104-1110.　(2007)

105. Induction of mitochondria-dependent apoptosis through the inhibition of mevalonate pathway in human breast cancer cells by YM529, a new third generation bisphosphonate(共)
H. Nakajima, J. Magae, M. Tsuruga, K. Sakaguchi, I. Fujiwara, M. Mizuta, K. Sawai, H. Yamagishi, N. Mizuta
Cancer Letter　253　89-96.　(2007)

106. 局所麻酔による乳がん根治手術症例の検討(共)
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、小林文
日本臨床外科学会雑誌　68 (4)　785-788.　(2007)

107. Ascochlorin suppresses oxLDL-induced MMP-9 expression by inhibiting the ERK1/2 signal　ing　in human THP-1 macrophages(共)
J.H. Kang, J.K. Kim, W.H. Park, K.K. Park, T.S. Lee, J. Magae, **H. Nakajima**, C.H. Kim, Y.C. Chang
Joural of Cellular Biochemistry 102　506-514.　(2007)

108. 乳癌手術におけるセンチネルリンパ節生検による腋窩リンパ節郭清省略例の遠隔成績(共)
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、小林文
日本臨床外科学会雑誌　68 (5)　1051-1056.　(2007)

109. Anxiolytic Effect of Aromatherapy Massage in Patients with Breast Cancer (共)
J. Imanishi, H. Kuriyama, I. Shigemori, S. Watanabe, Y. Aihara, M. Kita, K. Sawai, **H. Nakajima**, N. Yoshida, M. Kunisawa, M. Kawase, K. Fukui
eCAM　2007　1-6.　(2007)

110. Paclitaxel と Trastuzumab の併用投与により長期 CR が得られた肺・肝転移
再発乳癌の 1 例
中嶋啓雄
日本外科系連合学会雑誌　32 (4)　643-653.　(2007)

111. 免疫組織科学染色によるエストロゲンレセプターと HER２発現からみた乳癌の予後に
関する検討.
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、市田美保、小西英一、
柳澤昭夫
日本臨床外科学会雑誌　68 (9)　2171-2177.　(2007)

112. 乳癌の治療法－とくに妊娠・授乳期の診断と治療－
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、市田美保.
産婦人科治療　95 (5).　(2007)

113. Aberrant Expression of Fra-1 in Estrogen Receptor-negative Breast Cancer
and Suppression of their Propagation In Vivo by Ascochlorin, an antibiotic
that Inhabits Cellular Activator Protein-1 Activity.
Hiroo Nakajima, Naruhiko Mizuta, Koichi Sakaguchi, Ikuya Fujiwara,
Mitsuhikio Mizuta,Chiharu Furukawa, Young-Chae Chang, Junji Magae.
J.Antibiot　60 (11)　682-689.　(2007)

114. 術前化学療法（PST）および分子標的治療剤による乳癌の縮小手術（鏡視下乳房温存術）
の実際.
中嶋啓雄.
日本放射線技術学会近畿部会雑誌　13 (3)　17-20.　(2008)

115. Fas Lingand Released by Activated Monocytes Causes Apotosis of Lung
Epithelical Cells in Human Acute Lung Injury Model in vitro.
Mitsuhiko Mizuta, **Hiroo Nakajima**, Naruhiko Mizuta, Yoshihiro Kitamura,
Yoshifumi Nakajima, Soshi Hashimoto, Hiroko Matsuyama, Nobuaki Hsime,
Fumimasa Aymaya, Hidefumi Koh, Akitoshi Ishizaka, Junji Magae, Sei-ichi Tanuma,
Satoru Hashimoto.
Biol.Pharm. Bull　31 (3)　386-390.　(2008)

116. 乳癌加療後に発症した慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対し経皮的肺動脈バルーン拡張術を
施行した１例
西城さやか、田村俊寛、大野文美、古川裕、中川義久、北徹、赤尾昌治、木村剛、
中嶋啓雄
心臓　40（1）　46-52.　(2008)

117. Development of HER2-antagonistic peptides as novel anti-breast cancer drugs
by in silico methods.
Hiroo Nakajima, Naruhiko Mizuta, Ikuya Fujiwara, ,Atsushi Yoshimori,
Satoshi Takahashi, Ryoko Takasawa, Sei-ichi Tanuma.
Breast Cancer　15 (1)　65-72.　(2008)

118. リンパ節転移陰性Ｔ２乳癌においてセンチネルリンパ節生検に基づく
腋窩リンパ節郭清省略例
は可能か－腋窩リンパ節郭清群との累積生存率の比較－.
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、市田美保.
日本外科系連合学会雑誌　33 (1)　1-7.　(2008)

119. センチネルリンパ節生検導入による乳癌治療の変化.
中嶋啓雄、藤原郁也、阪口晃一、水田成彦
外科　70 (4)　389-395.　(2008)

120. Bid truncation mediated by caspases-3 and -9 in vinorelbine-induced apotosis.
Akemi Hayakawa, Yoshiyuki Kawamoto,
Hiroo Nakajima, Jun-ichi Sakai, Ryoko Takasawa, Izumi Nakashima, Junji Magae,
Sei-ichi Tanuma.
Apoptosis 13 (4) 1360-8185. (2008)

121. ステレオガイド下マンモトーム生検における経験と工夫.
中嶋啓雄、阪口晃一、藤原郁也、水田成彦、鉢嶺泰司、中務克彦、正木綾
日本乳癌検診学会誌 17 (2) 154-160. (2008)

122. Differential TH/micro PURE を用いた超音波併用乳癌検診
中嶋啓雄、阪口晃一、藤原郁也、水田成彦、鉢嶺泰司、市田美保、大橋まひろ
日本乳癌検診学会誌 17(3) 360-360 (2008)

123. Blockade of the Fas/Fas ligand intertaction suppresses hepatocyte apotosis
in ischemia-reperfusion rat liver.
Hiroo Nakajima, Naruhiko Mizuta, Ikuya Fujiwara ,Koichi Sakaguchi,
Hiromitsu Ogata, Jungi Magae, Hideo Yagita, Takehiko Koji.
Apoptosis 13 (4) 1013-1021. (2008)

124. 乳癌に対するセンチネルリンパ節生検後の腋窩リンパ節再生例の検討.
中嶋啓雄、阪口晃一、藤原郁也、水田成彦、鉢嶺泰司、中務克彦、市田美保、大橋まひろ、
小西英一、柳澤昭夫
日本臨床外科学会 69 (8) 1866－1871. (2008)

125. 内視鏡下乳房温存手術の長期成績.
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、市田美保、大橋まひろ.
日本臨床外科学会雑誌 69 (10) 2454－2461. (2008)

126. Prognosis of Japanese breast cancer based om hormone receptor and HER2
Expression determined by immunohistochemical staining. ,
Ikuya Fujiwara,H.Nakajima, N.Mizuta ,K.Sakaguchi,Yhachimine.
BrastCancer 15 (1). (2008)

127. Development of Her2-antagonistic peptides as novel anti-breast cancer drugs
by in silico methods.
Hiroo Nakajima, Naruhiko Mizuta, Koichi Sakaguchi,Ikuya Fujiwara,
Atsushi Yoshimori,Satoshi Takahashi, Ryoko Takasawa, Sei-ishi Tanuma.
BreastCancer 15 (1) (2008)

128. Endoscopic skin-sparing breast-conserving surgery for breast cancer and immediate
recon struncion with autologous tissue.
Hiroo Nakajima, Ikuya Fujiwara, Naruhiko Mizuta, Koichi Sakaguchi, Yasushi,
Hachimine.
Breast Cancer 15 (1) 4. (2008)

129. Prognosis of Japanese Breast Cancer Based on Hormone Receptor and HER2 Expression
Determined by Immunohistochemical Staining.
Hiroo Nakajima, Ikuya Fujiwara, Naruhiko Mizuta, Koichi Sakaguchi,
Yasushi Hachimine,Eiichi Konishi, Akio Yanagisawa, Jungi Magae.
World J Surg 32 2477-2482. (2008)

130. Video-Assisted skin-sparing breast-conserving surgery for breast cancer and immediate
reconstruncion with autologous tissue.
H.Nakajima, Ikuya Fujiwara, Naruhiko Mizuta, Koichi Sakaguchi, Yasushi, Hachimine.
Annals of Surgery 249 (1) 91-96. (2009)

131. Video-assisted skin-sparing breast conserving surgery for breast cancer and immediate re construction with autologous tissue: clinical outcomes
Hiroo Nakajima, Ikuya Fujiwara, Naruhiko Mizuta, Koichi Sakaguchi, Yasushi Hachimine, Jungi Magae.
Annals of Surgical Oncology (16) 1982-1989. (2009)

132. ステレオガイド下マンモトーム生検
中嶋啓雄、阪口晃一、水田成彦、市田美保、大橋まひろ、藤原郁也
手術 63 (10) 1409-1415. (2009)

133. Suppression of PAI-1 expression through inhibition of the EGFR-mediated signaling cascade in rat kidney fibroblast by ascofuranone.
HJ, Kang JH, Kim T, Park KK, Kim CH, Lee IS, Min KS, Magae J, **H.Nakajima**, Bae YS, Chang YC.
J Cell Biochem. May 15;107(2):335-44. (2009)

134. Ascochlorin activates p53 in a manner distinct from DNA damaging agents.
Jeong JH, **H.Nakajima**, Magae J, Furukawa C, Taki K, Otsuka K, Tomita M, Lee IS, Kim CH, Chang HW, Min KS, Park KK, Park KK, Chang YC.
Int J Cancer. Jun 15;124(12): 2797-803. (2009)

135. Clinical outcomes of video-assisted skin-sparing partial mastectomy for breast cancer and immediate reconstruction with latissimus dorsi muscle flap as breast-conserving therapy.
H.Nakajima, Fujiwara I, Mizuta N, Sakaguchi K, Ohashi M, Nishiyama A, Umeda Y, Ichida M, Magae
World J Surg. Sep vol.34,No.9, 2197-203. (2010)

136. Menin, a product of the MENI gene, binds to estrogen receptor to enhance its activity in Breast cancer cells: possibility of a novel predictive factor for tamoxifen resistance
H.Imachi, K.Murao, H.Dobashi, M M.Bhuyan, X.Cao, K.Kontani, S.Niki, C.Murazawa, **H.Nakajima**, N.Kohno, H.Yamashita, H.Iwase, S.Hayashi, T.Ishida＆A.Yamauchi
Brest Cancer Res Trest 122, 395-407 (2010)

137. Enhancement of paclitaxel-induced apoptosis in HER2-overexpressing human breast cancer Cells by a pertuzumab mimetic peptide,HRAP
H.Nakajima, n. mizuta, K.Sakaguchi,I. fujiwara,A.Yoshimori,J.Magae,and S.Tanuma
Journal of Bioscience and Bioengineering VOL.110, NO.2,250-253 (2010)

138. 検診で発見された乳頭部微細石灰化病変の一例
木下一夫、**中嶋啓雄**
日本乳癌検診学会誌 21(3) 558-558 (2012)

139. 乳頭部微細石灰化病変の検討
中嶋啓雄、木下一夫
日本臨床外科学会雑誌 Vol73, 662 (2013)

140. Delayed Growth Suppression and Radioresistance Induced by Long-Term Continuous Gamma Irradiation
Hiroo Nakajima, Chiharu Furukawa, Young-Chae Chang, Hiromitsu Ogata, Junji Magae
RADIATIONRESEARCH, vol188, 181-190, (2017)

141. Vinorelbine,a Microtubule Toxin,Induces Apoptosis and Polyploidy in MX-1, a Human Triple-Negative Breast Cancer Cell Line
Hiroo Nakajima, Chiharu Furukawa, Junji Magae
Jpn J Cancer Chemother, vol46,No3, 447-451 (2019)

142. 4-*O*-methylascochlorin stabilizes hypoxia-inducible factor-1 in a manner different from hydroxylase inhibition by iron chelating or substrate competition
Junji Magae, Chiharu Furukawa, Shigefumi Kuwahara, Yun-Jeong Jeong, **Hiroo Nakajima**, and Young-Chae Chang
BIOSCIENCE, BIOTECHNOLOGY, AND BIOCHEMISTRY, vol83,No12,2244-2248 (2019)

143. 微小管阻害剤 Vinorelbine によるヒト Triple-Negative 乳がん細胞 MX-1 の Apoptosis と Polyploidy の誘導
中嶋啓雄、古川智春、馬替純二
癌と化学療法 46(3) 447-451. (2019)

144. 化膿性脊椎椎間板炎と緑膿菌々血症を呈した下行結腸癌の１例
柴田信博、**中嶋啓雄**、坂井昇道、西澤恭子
日本臨床外科学会雑誌 83（5） 903-907 (2022)

145. 大量胸水による呼吸不全で救急搬送れた子宮筋腫併存原発性腹膜癌の１例
土佐明誠、安次富駿介、柴田信博、**中嶋啓雄**、坂井昇道、西澤恭子
日本臨床外科学会雑誌 83（5） 952-956 (2022)

146. 大型食道裂孔ヘルニアに伴う Cameron lesion の１例
土佐明誠、安次富駿介、柴田信博、**中嶋啓雄**、坂井昇道
日本臨床外科学会雑誌 83（6） 1047-1051 (2022)

147. 分子腫瘍マーカー検診と腹部超音波検診で発見されたおおきな子宮筋腫症の１例
柴田信博、中田浩史、**中嶋啓雄**、高橋正秀、大久保智治
人間ドック学会 37（5）815-818 (2023)

148. 乳房脂肪腫内に発生した高分化型脂肪肉腫の１例
中嶋啓雄、柴田信博、坂井昇道、岸真五
日本臨床外科学会雑誌 84（5） 695-699 (2023)

Academic　Presentation

D）学会発表

D-1）特別講演／招待講演（国外・国内）

1. Signal transduction of apoptosis induced by a novel immunosuppressant, FTY720
(特別講演)
中嶋啓雄、岡隆宏
生命工学工業技術研究所　通産省(筑波市)　(1997)

2. 新規免疫抑制剤、FTY720 のアポトーシス誘導機序とその免疫抑制効果
(招待講演)
中嶋啓雄、岡隆宏
三菱化学生命科学研究所(東京)　(1997)

3. 集中治療における気管支肺胞洗浄(BAL)の有用性について
「肺における好中球，マクロファージ，リンパ球の役割」
(特別講演)
橋本悟、小林敦子、重見研司、小尾口邦彦、小野寺秀記、**中嶋啓雄**
日本集中治療医学会中国四国地方会(広島)　(1998)

4. Apoptosis of immunological cells and its significance in transplantation.
(招待講演)
Hiroo Nakajima.
Invited Lecture in Hemoperfusion and Renal Transplantation Center,
Zhujiang Hospital (Guangzhou, China)　(1999)

5. 虚血再灌流障害の発症機序と新しい治療法
(招待講演)
中嶋啓雄
第 31 回移植免疫研究会(大阪大学，大阪)　(1999)

6. 虚血再灌流傷害(各種臓器)とアポトーシス
(招待講演)
中嶋啓雄
[アポトーシスの各種検索法と臨床分野への応用](大阪)　(2000)

7. Sentinel Node の最近の知見
(特別講演)
中嶋啓雄
第 2 回奈良ブレストセミナー(奈良)　(2003)

8. 乳癌治療の新しい方向性：Bisphosphonates の可能性
(特別講演)
中嶋啓雄
名古屋アポトーシス研究会(名古屋)　(2003)

9. 開閉式ドーム型吊り上げ鈎（HIROTECH®）の基本コンセプトと鏡視下乳腺手術における multiple benefits
(招待講演)
中嶋啓雄
ファイザー学術講演会(京都) (2005)

10. 鏡視下乳房温存手術の up to date
(特別講演)
中嶋啓雄
第 1 回青洲カンファレンス(京都) (2006)

11. 乳癌診療の最前線　～疫学・診断・手術・抗がん剤のすべて～
(特別講演)
中嶋啓雄
マンモグラフィ乳癌検診受診率向上を目指して～病診連携ネットワーク～(宇治) (2006)

12. マンモグラフィからみた術前化学療法の評価
(特別講演)
中嶋啓雄
第 14 回京都マンモグラフィ研究会 (2006)

13. 乳がんの疫学・診断・手術治療の Up to Date
(特別講演)
中嶋啓雄
伏見乳がん診療研究会－最新の乳がん診療について－(京都) (2007)

14. 乳がん、検診と最新の治療法
(特別講演)
中嶋啓雄
読売健康講座(大阪) (2007)

15. 増えつづけている乳がん－疫学・検診・診断・治療の最前線 2007－
(特別講演)
中嶋啓雄
山科医師会　学術講演会(京都) (2007)

16. 術前化学療法後の鏡視下乳房温存手術の実際
(特別講演)
中嶋啓雄
リュープリンテレビ講演会（京都） (2007)

17. 乳腺内視鏡手術における新規吊り上げシステム（HIROTECH）の開発
(特別講演)
中嶋啓雄
「第 61 回医用器材研究者サロン」・「ナノ再生医工学研究会」合同研究会 (2007)

18. 「増えつづけている乳がん－疫学・検診・診断・治療の最前線(2007)－」
(特別講演)
中嶋啓雄
中京東部医師会　学術講演会（京都） (2007)

19. 乳癌のセンチネルリンパ節生検（SLNB）の検出率を上げるコツと合併症予防の工夫.
(特別演題)
中嶋啓雄
第 70 回日本臨床外科学会学術総会（東京） (2008)

20. 乳がんについて学ぼう
(特別講演)
中嶋啓雄
LAC-座セミナー(京都) (2012)

21. 進化が加速する乳癌手術と補助療法 -2024 の現状とこれから-
(特別講演)
中嶋啓雄
第 30 回阪神医療教育セミナー（兵庫） (2024)

D-2）国際学会／海外招待講演

1. Biomedical monitoring of acute rejection with BLT serine esterase activity.
   H. Nakajima, K. Arakawa, T. Yasumura, T. Oka
   12th International Congress of the Transplantation Society (Sydney, Australia) (1988)

2. Inhibitory effect of reversible serine protease inhibitor on the activity of cytotoxic T lymphocytes.
   K.Arakawa, H.Nakajima, T.Yoshida, T.Yasumura, T.Oka
   12th International Congress of the Transplantation Society (Sydney, Australia) (1988)

3. Long term results of living related kidney transplantation.
   T. Yasumura, T. Oka, Y. Ohmori, I. Aikawa, K.Arakawa, N. Yoshimura, I. Nakai, H. Nakajima, M. Mitsuo, T. Akami
   First Congress of the Asian Transplantation Society (Bali, Indonesia) (1989)

4. Functional analysis of T cell specific serine esteras in allo-sensitized spleen cells.
   H.Nakajima, K.Arakawa, T. Yasumura and T.Oka
   First Congress of the Asian Transplantation Society (Bali, Indonesia) (1989)

5. Correlation between seroid dosage and onset of aseptic necrosis after kidney transplantation.
   K. Arakawa, T. Kubo, H. Nakajima, T. Yoshida, T. Yasumura, I. Nakai, M. Mitsuo, T. Akami, T. Oka
   First Congress of the Asian Transplantation Society (Bali,Indonesia) (1989)

6. Cytoprotective effect of CD59 antigen on xenotransplantation immunity.
   T. Akami, R. Sawada, M. Naruto, H. Nakajima, M. Okamoto, I. Nakai, M. Mituo, K. Arakawa, T. Oka
   First International Congress on Xenotranplantation (Minneapolis, USA) (1991)

7. Immunosuppressive effect of S opioid receptor on xenogeneic mixed lymphocytes reaction (XMLR)
   K. Arakawa, T. Akami, M. Okamoto, M. Mituo, I. Nakai, H. Nakajima, T. Oka
   First International Congress on Xenotranplantation (Minneapolis, USA) (1991)

8. The target cell nucleus is not required for cell mediated granzyme-or Fas-based cytotoxicity.
   H. Nakajima, P. Golstein, P.A. Henkart
   The 5th International Congress of Granzymes (Reno, USA) (1995)

9. Synergistic roles of granzymes A and B in mediating target cell death by RBL-mast cell tumors also expressing cytolysin/perforin.
   H. Nakajima, H. Park, P.A. Henkart
   The 5th International Congress of Granzymes (Reno, USA) (1995)

10. The target cell nucleus is not required for cell mediated granzyme-or Fas-based cytotoxicity.
    H. Nakajima, P. Golstein, P.A. Henkart
    The 9th International Congress of Immunology (SanFrancisco, USA) (1995)

11. TcR-induced Fas ligand and Fas upregulation in the mouse T hybridoma 2B4 and T lymphocyte blasts.
    H. Nakajima, K. Ebnet, P.A. Henkart
    The 9th International Congress of Immunology (SanFrancisco, USA) (1995)

12. Analysis of biochemical and biological functions of Fas-Liganad(FasL) and Fas on activataed T cells in allo-immune response.
    H. Nakajima, T. Oka
    The 16th International Congress of the Transplantation Society (Barcelona, Spain) (1996)

13. A novel monitoring of immunosuppression in recipients with DNA-binding activity of AP-1.
K. Akioka, **H. Nakajima**, T. Oka
The 16th International Congress of the Transplantation Society (Barcelona, Spain) (1996)

14. Role of natural killer (NK) cells in lethal graft-versus-host disease (GVHD) in rat model.
K. Akioka, **H. Nakajima**, T. Oka
The 16th International Congress of the Transplantation Society (Barcelona, Spain) (1996)

15. Prolongation of discordant xenograft survival by sCR1 and AT-3 combination therapy.
I. Fujiwara, **H. Nakajima**, T. Oka
The 16th International Congress of the Transplantation Society (Barcelona, Spain) (1996)

16. A novel monitoring of immunosuppression in recipients with DNA-binding activity of AP-1 and NF-AT.
K.Akioka, **H.Nakajima**, T. Oka.
The 6th International Alexis Carrel Conference (Banff, Canada) (1996)

17. Functional analysis and control of delayed xenograft rejection (DXR) in discordant Xenotransplantation.
H. Nakajima, I. Fujiwara, E. Sun, T. Matsuda, N. Mizuta, T. Oka.
The 4th International Congress for Xenotransplantation (Nantes, France) (1997)

18. Analysis of the molecular mechanism of apoptosis induced by xenogeneic cytotoxicity.
I. Fujiwara, **H. Nakajima**, E. Sun, T. Matsuda, N. Mizuta, T. Oka.
The 4th International Congress for Xenotransplantation (Nantes, France) (1997)

19. Analysis of the molecular mechanism of apoptosis induced by xenogeneic cytotoxicity.
H. Nakajima, I.Fujiwara, T. Matsuda, N. Mizuta, T. Oka
New Dimensions In Transplantation (Florence, Italy) (1998)

20. Analysis of the caspase dependent apoptosis pathway induced by FTY720.
H. Nakajima, T. Matsuda, I. Fujiwara, N. Mizuta, T. Oka
17th World Congress of the Transplantation Society (Montreal, Canada) (1998)

21. Upregulation of apoptotic effector molecules in acute phase of ARDS patients.
S. Hashimoto, A. Kobayashi, K. Kooguchi, Y. Kitamura, H. Onodera, **H. Nakajima**
American Thoracic Society/American Lung Association International Conference
(SanFrancisco, USA) (1998)

22. FasL expression on pig cells suppresses the human NK-cell mediated cytotoxicity.
H. Nakajima, I. Fujiwara, T. Matsuda, N. Mizuta, T. Oka.
The 7th Alexis Carrrel Conference (Kyoto) (1998)

23. Prolongation of concordant xenografts survival by newly developed drug, FTY720.
I. Fujiwara, **H. Nakajima**, T. Matsuda, N. Mizuta, T. Oka.
The 7th Alexis Carrrel Conference (Kyoto) (1998)

24. Kidney transplantation from hepatitis B surface antigen(HBSAG)-positive donor to HBsAG negative recipient.
M. Okamoto, N. Yoshimura, I. Nakai, **H. Nakajima,** N. Mizuta, Y. Ohmori, T. Oka
The 7th Alexis Carrrel Conference(Kyoto) (1998)

25. Upraguration of apoptotic effector molecules in acute phase of ARDS patients.
S. Hashimoto, A. Kobayashi, K. Kooguchi, Y. Kitamura, H. Onodera, **H. Nakajima**
American Thoracic Society / American Lung AsociationInternational Conference
Abstract Am J Resp Crit Care Med 157: A349
(Chicago, USA) (1998)

26. C-myc antisense oligodeoxynucleotides can induce apoptosis and down-regulate Fas expression in rheumatoid synoviocytes.
A. Hashiramoto, H. Sano, Y. Kawahito, Y. Kusaka, M. Kondo and **H. Nakajima**
The 3rd Korea-Japan Combined Meeting of Rheumatology (Soul, Korea) (1999)

27. Analysis of Granzyme B and Caspases Pathway in Xenogeneic Cytotoxicity
H. Nakajima
The 5th Congress of the International Xenotransplantation Association (Nagoya) (1999)

28. Endoscopy Assisted Breast Conserving Surgery Under Local Anesthesia
K. Sawai, **H. Nakajima**, K. Sakaguchi, N. Mizuta, Y. Hachimine
The 3rd Congress of the World Society for Breast Health (Tokyo) (2005)

29. *In silico* Design of Novel Anticancer Antibody Mimetic Molecules Targeting HER2.
H.Nakajima, Sei-ichi Tanuma, Ikuya Fujiwara, Naruhiko Mizuta, Koichi Sakaguchi.
43rd Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology. (Chicago, Illinois) (2007)

30. A Novel Therapeutic Strategy for ER-Negative Human Breast Cancers, Targeting AP-1 Activity.
Koichi Sakaguchi, **H.Nakajima**, Ikuya Fujiwara, Naruhiko Mizuta, Junji Magae.
43rd Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology. (Chicago, Illinois) (2007)

31. Impact of Trastuzumab on the Pathological Complete Response (pCR) rates in Primary Systemic Therapy for Breast Cancer.
Naruhiko Mizuta, **H.Nakajima**, Koichi Sakaguchi, Ikuya Fujiwara.
43rd Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology. (Chicago, Illinois) (2007)

32. Recurrence and morbidity in patients undergoing sentinel lymph node biopsy in Japanese breast cancer.
Ikuya Fujiwara, **H.Nakajima**, Mizuta Naruhiko, Sakaguchi Koichi, Hachimine Yasushi.
43rd Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology. (Chicago, Illinois) (2007)

33. Video-assisted endoscopic breast conserving surgery and immediate reconstruction for breast cancer. June 1-5, 2007. Chicago, Illinois
H.Nakajima, Ikuya Fujiwara, Naruhiko Mizuta, Koichi Sakaguchi, Yasushi Hachimine, Katsu-hiko Nakatsukasa, Miho Ichida.
17th Joint Congress of Asia & Pacific Federations & 53rd Annual Congress of the Japan Section. (2008)

34. Endoscopic skin-sparing breast-conserving surgery for breast cancer and immediate reconstruncion with autologous tissue.
H.Nakajima, N.Mizuta K.Sakaguchi, I.Fujiwara, Y.Hachimime.
44th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology. (Chicago) (2008)

35. Prognosis of Japanese breast cancer based om hormone receptor and HER2 expression determined by immunohistochemical staining.
I.Fujiwara, **H.Nakajima**, N.Mizuta K.Sakaguchi, Y.Hachimine.
44th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology. (Chicago) (2008)

36. Development of her2-antagonistic peptides as novel anti-breast cancer drugs by in silico methods.
H.Nakajima, N.Mizuta, K.Sakaguchi, I.Fujiwara, A.Yoshimori, R.Takasawa, S.Tanuma.
44th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology. (Chicago) (2008)

37. Prognosis of Japanese breast cancer based om hormone receptor and HER2 expression determined by immunohistochemical staining
I.Fujiwara ,**H.Nakajima**,N.Mizuta,K.Sakaguchi,Yhachimine.
The 26th Congress of the International Association for Breast Cancer Research. (Okayama) (2008)

38. Development of Her2-antagonistic peptides as novel anti-breast cancer drugs by in silico methods.
H.Nakajima, Naruhiko Mizuta, Koichi Sakaguchi,Ikuya Fujiwara,
Atsushi Yoshimori, Satoshi Takahashi, Ryoko Takasawa, Sei-ishi Tanuma.
The 26th Congress of the International Association for Breast Cancer Research. (Okayama) (2008)

39. Endoscopic skin-sparing breast-conserving surgery for breast cancer and immediate Recon struncion with autologous tissue.
H. Nakajima, Ikuya Fujiwara, Naruhiko Mizuta, Koichi Sakaguchi, Yasushi Hachimine
The 26th Congress of the International Association for Breast Cancer Research. (Okayama) (2008)

40. Video-assisted skin-sparing breast-conserving surgery for breast cancer and immediate recon struction with autologous tissue: Clinical outcomes.
Ikuya Fujiwara, **H.Nakajima**, N.Mizuta, K.Sakaguchi, Y.Hachimine.
2009 ASCO Annual Meeting. J Clin Oncol 27 (suppl;abstr e11580)(Chicago) (2009)

D-3）シンポジウム / ワークショップ / パネルディスカッション（国際学会・国内学会）

1. A Novel immune monitoring system with BLT (Z-LYS-SBZL) serine esterase.
(シンポジウム)
H. Nakajima, K. Arakawa, T. Yoshida, T. Oka
First International Basic Sciences Symposium of the Transplantation Society
(Banff, Canada) (1989)

2. 膵、小腸移植—臨床応用に際しての手際上の問題点：膀胱吻合術式による簡便な移植膵機能評価
(シンポジウム)
中井一郎、小田俊彦、満尾学、岡本雅彦、赤見敏和、中嶋啓雄、荒川幸平、岡隆宏
第 27 回日本移植学会(東京) (1991)

3. Analysis of biochemical and biological functions of Fas-Ligand (FasL) and Fas on activataed T cells in allo-immune response.
(シンポジウム)
H. Nakajima, T. Oka.
The 6th International Alexis Carrel Conference (Banff, Canada) (1996)

4. Acute-GVHD (graft versus host disease)の発症機構の解析
(特別シンポジウム)
秋岡清一、中嶋啓雄、岡隆宏
第 32 回日本移植学会(鹿児島) (1996)

5. FTY720 inhibits the mRNA expression of intragraft cytotoxic molecules, leading to cardiac allograft survival.
(シンポジウム)
H. Nakajima, I. Fujiwara, T. Matsuda, N. Mizuta, T. Oka
New Dimensions In Transplantation (Florence, Italy) (1998)

6. Analysis of the caspase dependent apoptosis pathway induced by FTY720.
(シンポジウム)
H. Nakajima, T. Matsuda, I. Fujiwara, N. Mizuta, T. Oka
New Dimensions In Transplantation (Florence, Italy) (1998)

7. 心筋虚血再灌流傷害の発生機序解析と新しい治療法の開発
(ワークショップ)
中嶋啓雄
第 99 回日本外科学会総会(福岡) (1999)

8. 半側臥位、上肢吊り上げ法による鏡視下乳房温存手術・広背筋脂肪弁同時再建術
(ビデオクリニック)
中嶋啓雄、沢井清司、水田成彦、阪口晃一
第 62 回日本臨床外科学会(名古屋) (2000)

9. 9mTc-HAS-D と 2%Metylene blue の併用法による Sentinel lymph node biopsy の検討
(ワークショップ)
水田成彦、沢井清司、中嶋啓雄、阪口晃一
第 62 回日本臨床外科学会(名古屋) (2000)
日本臨床外科学会雑誌　61 増刊号　　263

10. Anti-HER2 antibody(Herceptin)と Paclitaxel(Taxol)を併用した進行再発乳癌の治療経験
（ワークショップ）
中嶋啓雄、阪口晃一、水田成彦、沢井清司
第 13 回日本バイオセラピィ学会(京都)
第 13 回日本バイオセラピィ学会抄録集　142　(2000)

11. 急性肺障害におけるアポトーシスの関与－Fas/FasL および Perforin/Granzyme－
橋本悟、北村佳博、小林敦子、小尾口邦彦、山下智充、中嶋啓雄
機関誌「人口呼吸」第 17 巻 2 号　S1-3　137　(2000)

12. 新しい鏡視下乳房温存手術の開発
(ワークショップ)
中嶋啓雄、阪口晃一、水田成彦、沢井清司
第 101 回日本外科学会総会(仙台)
日本外科学会雑誌　102 臨時増刊号 145　(2001)

13. Sentinel Node Concept は局麻下の Day Surgery による乳癌の根治を可能にする
(ワークショップ)
沢井清司、中嶋啓雄、水田成彦、阪口晃一
第 26 回日本外科系連合学会(東京)
日本外科系連合学会誌　26(3)　501　(2001)

14. 肝虚血再灌流障害の発生機序の解明と新しい治療法の開発
(ワークショップ)
水田成彦、中嶋啓雄、阪口晃一、沢井清司
第 26 回日本外科系連合学会(東京)
日本外科系連合学会誌　26(3)　528　(2001)

15. Day Surgery・局所麻酔下の Sentinel Node Biopsy
(ビデオシンポジウム)
水田成彦、沢井清司、中嶋啓雄、阪口晃一
第 9 回日本乳癌学会総会(前橋)　(2001)

16. 組み立て式吊り上げ鈎を用いた鏡視下乳腺全摘術・広背筋脂肪弁による同時再建術
(ビデオシンポジウム)
阪口晃一、沢井清司、中嶋啓雄、水田成彦
第 9 回日本乳癌学会総会(前橋)　(2001)

17. 根治性と整容性を両立させるための鏡視下乳房温存手術
(ワークショップ)
中嶋啓雄
第 27 回日本外科系連合学会(岡山)
日本外科系連合学会誌　27(3)　434　(2002)

18. 乳癌に対するセンチネルリンパ節生検を局所麻酔下に行うための手技の工夫
(パネルディスカッション)
沢井清司、中嶋啓雄、大江信哉、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司(東京)
第 64 回日本臨床外科学会(東京)　(2002)

19. 視下同時再建法による乳房温存療法適応拡大
(ビデオシンポジウム)
中嶋啓雄
第 64 回日本臨床外科学会(東京)
日本臨床外科学会雑誌第　63 増刊号　234　(2002)

20. 乳腺リンパ流 one compartment mode 理論による Sentinel node biopsy の適応拡大
(ワークショップ:Sentinel Node Navigation Surger)
中嶋啓雄
第 40 回日本癌治療学会総会(東京)
日本癌治療学会雑誌　37(2)　249　(2002)

21. 4-O-methyl ascochlorin(MAC)のアポトーシス誘導活性とマウスにおける免疫抑制効果
(ポスターワークショップ：免疫寛容と制御性 T 細胞)
敦賀美恵、佐々木百合恵、**中嶋啓雄**、馬替純二
第 33 回日本免疫学会総会(福岡)　(2003)

22. 根治性と整容性の両立を目指した鏡視下乳癌根治手術
(ビデオシンポジウム)
中嶋啓雄
第 41 回日本癌治療学会総会(札幌)　(2003)

23. 乳房温存療法の適応拡大を可能にする鏡視下手術のテクニック
(パネルディスカッション)
中嶋啓雄、沢井清司、大江信哉、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 103 回日本外科学会総会(札幌)　(2003)

24. 乳癌骨病変に対する治療の実際
(パネルディスカッション)
中嶋啓雄
Breast Cancer Up-to-date Meeting in KYOTO(京都)　(2003)

25. 乳腺疾患に対する画像ガイド下生検の位置づけ
(ビデオセッション)
沢井清司、**中嶋啓雄**
第 12 回日本乳腺甲状腺超音波診断会議(東京)　(2004)

26. 乳癌に対するセンチネルリンパ節生検の適応拡大とその成績
(シンポジウム)
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 42 回日本癌治療学会総会(京都)　(2004)

27. 鏡視下乳房温存手術施行症例（過去 6 年間）の遠隔成績と問題点
(ビデオシンポジウム)
中嶋啓雄、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、沢井清司
第 42 回日本癌治療学会総会(京都)　(2004)

28. 内視鏡付開閉式吊り上げ鈎の開発による鏡視下乳房温存手術の標準化の実現
(ビデオシンポジウム)
中嶋啓雄、阪口晃一、沢井清司、水田成彦
第 105 回日本外科学会総会(名古屋)　(2005)

29. 開閉式ドーム型吊り上げ鈎（HIROTECH®）の基本コンセプトと鏡視下乳腺手術における multiple benefits
(ビデオシンポジウム)
中嶋啓雄
第 177 回近畿外科学会(京都)　(2005)

30. 鏡視下乳房温存手術 304 症例の長期成績と安全性
(パネルディスカッション：乳腺鏡視下手術の長期成績と安全性)
中嶋啓雄、阪口晃一、水田成彦、鉢嶺泰司、沢井清司
第 13 回日本乳癌学会総会(倉敷) (2005)

31. アスコクロリンによる ER 受容体陰性ヒト乳癌細胞株に対する選択的細胞傷害機序
(ワークショップ：分子標的治療　分子標的薬 1)
中嶋啓雄、阪口晃一、水田成彦、紅林淳一、馬替純二
第 64 回日本癌学会総会(札幌) (2005)

32. センチネルリンパ節生検の導入は乳癌治療をどう変えたか
(ワークショップ：最新画像診断により乳癌治療はどう変わる)
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 43 回日本癌治療学会総会(名古屋) (2005)

33. 検診による早期発見で乳癌治療はここまで変わった—QOL の向上を目指して
(ランチョンセミナー)
中嶋啓雄
第 15 回日本乳癌検診学会総会(京都) (2005)

34. 遠隔成績からみた乳癌に対するセンチネルリンパ節生検の評価
(シンポジウム：センチネルリンパ節ナビゲーションサージェリーの評価)
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 67 回日本臨床外科学会(東京) (2005)

35. 乳癌に対するセンチネルリンパ節生検における RI・色素併用法の有用性
(シンポジウム：センチネルリンパ節生検における諸問題)
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 18 回関西乳癌放射線治療研究会(神戸) (2006)

36. Endoscopic breast conserving surgery using HIROTECH-system
(パネルディスカッション)
中嶋啓雄
第 19 回日本乳腺内視鏡手術研究会(金沢) (2006)

37. 京都府に住む婦人のマンモグラフィ検診受診率を 50%にするプロジェクト
(シンポジウム 1：乳癌検診—受診率向上のためにすべきこと)
沢井清司、**中嶋啓雄**、蔭山典男、江口ひろみ、鴇田佳津子、山本幸子、酒井君子、西田直子、北川享子、佐々木伸也、山内千夏子、奥村美保、桂一朗、西田則彦、服部一史、白石正信
第 16 回日本乳癌検診学会(仙台) (2006)

38. PST(primary systemic therapy)後に鏡視下乳房温存手術が可能となった 47 例の治療成績
(シンポジウム)
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、小林文
第 19 回関西乳癌放射線治療研究会(京都) (2007)

39. 3CCD 内視鏡付開閉式吊り上げ鈎(HIROTECH)の開発による鏡視下乳房温存手術の標準化の現実
(シンポジウム)
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 19 回吊り上げ法手術研究会(横浜) (2007)

40. *In silico* design of Herceptin mimetic peptides for development of novel anti-breast cancer drugs. (シンポジウム)
中嶋啓雄、水田成彦、阪口晃一、藤原郁也、吉森篤史、高橋哲、田沼靖一.
第 67 回日本癌学会学術総会（名古屋） (2008)

40. 乳癌に対する内視鏡下 skin sparing partial mastectomy (VA-SSPM)と latissimus dorsi muscle flap (LDMF)による乳房再建の長期成績.
(シンポジウム)
藤原郁也、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司.
第 109 回日本外科学会総会.　4 月 3 日(福岡)　(2009)

41. 乳癌に対する内視鏡下乳房温存術にと広背筋弁による乳房再建の長期成績
（ワークショップ）
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、市田美保、大橋まひろ.
第 12 回日本乳癌学会総会.　7 月 4 日(東京)　(2009)

D-4）国内発表（一般口演・ポスター）

1. ラットにおける静脈血門脈ドレナージを施した全膵十二指腸移植モデルの作成
満尾学、中井一郎、岡本雅彦、赤見敏和、**中嶋啓雄**、小田俊彦、荒川幸平、岡隆宏
第 18 回膵移植談話会(福島) (1991)

2. デルタオピオイドリセプターアンダゴニスト（NTI）のラット腎移植における免疫抑制効果
荒川幸平、赤見敏和、**中嶋啓雄**、岡本雅彦、満尾学、中井一郎、岡隆宏、長瀬博、松本修、
第 27 回日本移植学会(東京) (1991)

3. 尿毒症ラットに対する膵および膵腎同時移植
中井一郎、満尾学、岡本雅彦、赤見敏和、**中嶋啓雄**、小田俊彦、荒川幸平、
岡隆宏、K.L. Brayman, David E.R. Sutherland
第 18 回膵移植談話会(福島) (1991)

4. パーフォリンインヒビター（Perforin Inhibitor;P-I）の精製及びその免疫抑制効果
第 91 回日本外科学会総会(京都) (1991)

5. MHC 不適合ドナー特異的免疫寛容を導入した BB/WOR ラットに対する膵移植
中井一郎、満尾学、岡本雅彦、赤見敏和、**中嶋啓雄**、小田俊彦、荒川幸平、
岡隆宏、David E.R. Sutherland、K.L. Brayman
第 92 回日本外科学会総会(東京) (1992)

6. ラット膵移植における 15-deoxyspergualin 単独投与法の検討
中井一郎、満尾学、小田俊彦、岡本雅彦、赤見敏和、**中嶋啓雄**、荒川幸平、安村忠樹、
大森吉弘、岡　隆宏、K.L. Brayman、David E.R.Sutherland
第 19 回膵移植相談会(京都) (1992)

7. Discordant 異種細胞傷害における、gramzyme B と caspase の役割の解析
藤原郁也、**中嶋啓雄**、松田哲朗、水田成彦、岡隆宏
第 2 回日本異種移植研究会(広島) (1999)

8. FasL 分子を用いた discordant 異種細胞傷害に対する新しい抑制法の開発
中嶋啓雄、藤原郁也、松田哲朗、水田成彦、岡隆宏
第 2 回日本異種移植研究会(広島) (1999)

9. 乳癌に対する Sentinel node biopsy からみた skip 転移の再検討
沢井清司、趙秀之、**中嶋啓雄**、黒田幸子、奥山智緒、牛嶋陽、西村恒彦
第 8 回日本乳癌学会総会(横浜) (2000)
第 8 回日本乳癌学会総会抄録　172

10. 転移面積からみた腋窩リンパ転移の術前・術中診断の問題点
趙秀之、沢井清司、**中嶋啓雄**、黒田幸子、山上卓士、牛嶋陽、西村恒彦
第 8 回乳癌学会総会(横浜) (2000)
第 8 回抄乳癌学会総会録　175

11. 乳腺鏡視下手術施行症例の検討
中嶋啓雄、沢井清司、趙秀之、
第 8 回乳癌学会総会(横浜) (2000)
第 8 回乳癌学会総会抄録集　249

12. 両側乳腺悪性リンパ腫の一例
石井博道、阪口晃一、水田成彦、**中嶋啓雄**、沢井清司、樋野陽子、真崎武、谷脇雅史
近畿外科学会 (2000)

13. 動注療法などにより Histological CR が得られた乳癌胸骨傍リンパ節再発の１例
井上和也、阪口晃一、水田成彦、**中嶋啓雄**、沢井清司、黒田幸子、樋野陽子、上原正弘、
藤井宏二、高橋滋、竹中温
近畿外科学会 (2000)

14. 鏡視下手術・同時再建による乳房温存適応拡大への挑戦
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、黒田幸子、西村恒彦、樋野陽子、真崎武、土橋康成
第 4 回近畿 Breast Cancer Research Conference(大阪)
第 4 回近畿 B.C.R.C.抄録集　11 (2000)

15. 術前 CT 診断併用による乳癌の Sentinel lymph node mapping
中嶋啓雄、阪口晃一、水田成彦、沢井清司、牛嶋陽、黒田幸子、西村恒彦、樋野陽子、
真崎武、土橋康成
第 32 回癌とリンパ節研究会(仙台)
第 32 回癌とリンパ節研究会抄録集　14 (2000)

16. 半側臥位、上肢吊り上げ法による鏡視下乳房温存手術・広背筋脂肪弁同時再建術
中嶋啓雄、沢井清司、水田成彦、阪口晃一
第 62 回臨床外科学会(名古屋)
日本臨床外科学会雑誌　61 増刊号　303 (2000)

17. C-erbB2 抗体が著効した再発乳癌の１例
阪口晃一、沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦
第 62 回臨床外科学会(名古屋)
日本臨床外科学会雑誌　61 増刊号　570 (2000)

18. 腋窩郭清による上肢浮腫をなくすための治療法の工夫
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一
第 9 回日本乳癌学会総会(前橋) (2001)

19. 根治性と整容性の両立を目指した鏡視下乳房温存術式の検討
中嶋啓雄、沢井清司、水田成彦、阪口晃一
第 9 回日本乳癌学会総会(前橋) (2001)

20. 乳房温存療法適応拡大への挑戦
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 102 回日本外科学会総会(京都)
日本外科学会雑誌　103 臨時増刊号　450 (2002)

21. 乳癌に対する腋窩郭清省略の適応拡大は可能か
中嶋啓雄、鉢嶺泰司、阪口晃一、水田成彦、沢井清司
第 102 回日本外科学会総会(京都)
日本外科学会雑誌　103 臨時増刊号　450 (2002)

22. ヒト乳癌細胞株に対する Bisphosphonate(BP)の抗腫瘍効果の機序解析
水田成彦、鉢嶺泰司、阪口晃一、沢井清司、**中嶋啓雄**
第 102 回日本外科学会総会(京都)
日本外科学会雑誌　103 臨時増刊号　551 (2002)

23. Vinorelbine による乳癌細胞へのアポトーシス誘導機序の解析
阪口晃一、**中嶋啓雄**、鉢嶺泰司、水田成彦、沢井清司
第 102 回日本外科学会総会(京都)
日本外科学会雑誌　103 臨時増刊号　141 (2002)

24. 鏡視下乳腺手術の評価
鉢嶺泰司、沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一
第 102 回日本外科学会総会(京都)
日本外科学会雑誌　103 臨時増刊号　150　(2002)

25. 鏡視下切除および同時再建による温存療法の適応拡大
阪口晃一、**中嶋啓雄**、沢井清司、水田成彦、大江信哉、鉢嶺泰司
第 27 回乳癌懇話会(京都)　(2002)

26. パクリタキセル＋トラスツズマブ療法が奏効した乳癌術後肺・肝転移の１例
大陽宏明、水田成彦、鉢嶺泰司、阪口晃一、大江信哉、**中嶋啓雄**、沢井清司
第 442 回京都(京滋)外科集談会(京都)　(2002)

27. センチネルリンパ節生検前の乳腺腋窩部 CT の役割
結縁幸子、西村恒彦、**中嶋啓雄**、沢井清司
第 10 回日本乳癌学会総会(名古屋)
第 10 回日本乳癌学会抄録集 148　(2002)

28. 乳腺内視鏡手術の整容面からの有効性について
沢井清司、**中嶋啓雄**
第 11 回日本乳腺内視鏡手術研究会(名古屋)　(2002)

29. 吊り上げ法：温存＋広背筋弁再建
沢井清司、**中嶋啓雄**
第 11 回日本乳腺内視鏡手術研究会(名古屋)　(2002)

30. 乳癌に対する鏡視下乳房温存術施行例の検討
阪口晃一、沢井清司、**中嶋啓雄**、大江信哉、水田成彦、鉢嶺泰司
第 44 回京滋乳癌研究会(京都)
癌治療と宿主　15(3)、 100-101　(2002)

31. 4-O-methyl ascochlorin(MAC)により誘導されるヒト T 細胞白血病細胞株 Jurkat のアポトーシス
敦賀美恵、**中嶋啓雄**、馬替純二
第 75 回日本生化学会総会(京都)　(2002)

32. 局所麻酔下の Day Surgery による乳癌根治術の現状と展望
中嶋啓雄、沢井清司、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 27 回日本外科系連合学会(岡山)　(2002)
日本外科系連合学会誌　27(3) 352

33. 再発乳癌に対する化学療法における静注用ポート留置の意義
大陽宏明、阪口晃一、鉢嶺泰司、水田成彦、大江信哉、**中嶋啓雄**、沢井清司
第 64 回日本臨床外科学会(東京)　(2002)

34. シリコンバッグによる乳房再建後の乳癌に対し温存療法を行った１例
木谷光紀、鉢嶺泰司、阪口晃一、水田成彦、大江信哉、**中嶋啓雄**、沢井清司
第 444 回京都(京滋)外科集談会(京都)　(2003)

35. 両側とも Day surgery を試みた異時性両側乳癌の１例
下村雅律、大陽宏明、鉢嶺泰司、阪口晃一、水田成彦、大江信哉、**中嶋啓雄**、沢井清司
第 444 回京都(京滋)外科集談会(京都)　(2003)

36. 鏡視下乳房温存治療における乳房内再発症例の検討
沢井清司、**中嶋啓雄**、大江信哉、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、西野健一、石田敏博、
沼尻敏明、土橋康成、真崎武
第 15 回関西乳癌放射線治療研究会（京都）　(2003)

37. 術前 pacritaxel の weekly 投与にて pCR を得た進行乳癌の一例
本間幸恵、岡村寛子、鉢嶺泰司、阪口晃一、水田成彦、大江信哉、**中嶋啓雄**、沢井清司、真崎武、土橋康成、後藤真理子、西村恒彦
第 173 回近畿外科学会(京都) (2003)

38. 新規 Bisphosphonate(YM529)の乳癌に対する抗腫瘍効果の解析
水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、大江信哉、沢井清司、**中嶋啓雄**
第 103 回日本外科学会定期学術集会(札幌) (2003)

39. 新規 Bisphosphonate(YM529)のヒト乳癌細胞に対するアポトーシス誘導機序
中嶋啓雄、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、大江信哉、沢井清司
第 9 回 Breast Cancer Research Conference(大阪) (2003)

40. 術前診断 DCIS・微小浸潤癌に対するセンチネルリンパ節生検の意義
中嶋啓雄、沢井清司、大江信哉、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 11 回日本乳癌学会総会(新潟) (2003)

41. 理論的な偽陰性出現率からみたセンチネルリンパ節生検による郭清省略の適応
沢井清司、**中嶋啓雄**、大江信哉、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 11 回日本乳癌学会総会(新潟) (2003)

42. 新規 Bisphosphonate(YM529)の乳癌に対する抗腫瘍効果の解析
水田成彦、**中嶋啓雄**、鉢嶺泰司、阪口晃一、大江信哉、沢井清司
第 11 回日本乳癌学会総会(新潟) (2003)

43. Tetrocarcin A を用いた抗癌剤抵抗性乳癌に対する新しい分子標的治療法の開発
阪口晃一、鉢嶺泰司、水田成彦、大江信哉、沢井清司、**中嶋啓雄**
第 11 回日本乳癌学会総会(新潟) (2003)

44. 乳腺疾患に対する穿刺吸引細胞診の現状と課題
大江信哉、鉢嶺泰司、阪口晃一、水田成彦、**中嶋啓雄**、沢井清司
第 11 回日本乳癌学会総会(新潟) (2003)

45. 吊り上げ法による鏡視下乳癌根治手術の遠隔成績の検討
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 13 回日本乳腺内視鏡手術研究会(新潟) (2003)

46. 非浸潤性乳管癌の MRI 診断
後藤真理子、沢井清司、**中嶋啓雄**
第 46 回京滋乳癌研究会(京都) (2003)

47. CTLs の分子標的細胞傷害機構（アポトーシス誘導機序）と Self-Defence
中嶋啓雄、P.A. Henkart
第 12 回日本アポトーシス研究会(東京) (2003)

48. 新規 Bisphosphonate（YM529）のヒト乳癌細胞にたいする抗腫瘍効果の機序解析
水田成彦、阪口晃一、**中嶋啓雄**
第 12 回日本アポトーシス研究会(東京) (2003)

49. 術前に DCIS±微小浸潤癌と診断した症例に対する sentinel lymph node biopsy の検討
中嶋啓雄、沢井清司、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 5 回 Sentinel Node Navigation Surgery 研究会学術集会(大阪) (2003)

50. 巨大乳腺粘液癌（pure type）の一例
水田有紀、**中嶋啓雄**、沢井清司
第 174 回近畿外科学会(神戸) (2003)

51. 乳癌に対するセンチネルリンパ節生検の現状と展望
市田美保、沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、廣中愛
第 1 回日本乳癌学会近畿地方会(大阪) (2004)

52. 乳房温存術後の乳頭変形に対する保存療法—ニプレットによる吸引療法の経験—
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 1 回日本乳癌学会近畿地方会(大阪) (2004)

53. 乳腺線維腺腫に対する鏡視下手術の検討
廣中愛、沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、市田美保
第 1 回日本乳癌学会近畿地方会(大阪) (2004)

54. 乳癌化学療法における IVH ポート留置術の役割
大陽宏明、小山拡史、稲葉征四郎、鉢嶺泰司、阪口晃一、水田成彦、**中嶋啓雄**、沢井清司
第 1 回日本乳癌学会近畿地方会(大阪) (2004)

55. Paclitaxel による Primary chemotherapy の検討
水田成彦、鉢嶺泰司、阪口晃一、**中嶋啓雄**、沢井清司
第 29 回乳癌懇話会(大阪) (2004)

56. 遠隔成績からみた乳癌に対する鏡視下手術の妥当性
中嶋啓雄、沢井清司、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 104 回日本外科学会総会(大阪) (2004)

57. 癌剤抵抗性乳癌に対する新しい分子標的治療薬の開発
水田成彦、**中嶋啓雄**、沢井清司、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 104 回日本外科学会総会(大阪) (2004)

58. エストロゲン受容体陰性乳癌（ER（－））に対する特異的分子標的治療法の開発
阪口晃一、**中嶋啓雄**、紅林淳一、沢井清司、水田成彦、鉢嶺泰司
第 104 回日本外科学会総会(大阪) (2004)

59. Elastgraphy による乳腺の組織弾性診断の初期経験
沢井清司、**中嶋啓雄**、三竹毅、村山直之
日本超音波医学会第 77 回学術集会(宇都宮) (2004)

60. 術前診断 DCIS±micro invasion の乳癌症例に対するセンチネルリンパ節生検
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 12 回日本乳癌学会総会(小倉) (2004)

61. 鏡視下乳房温存手術：画像による根治性確保と整容性の客観的評価
中嶋啓雄、沢井清司、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 12 回日本乳癌学会総会(小倉) (2004)

62. Tetrocarcin A を用いた抗癌剤抵抗性乳癌に対する新しい分子標的治療法の開発
水田成彦、鉢嶺泰司、阪口晃一、**中嶋啓雄**、沢井清司
第 12 回日本乳癌学会総会(小倉) (2004)

63. エストロゲン受容体陰性乳癌に対する特異的分子標的治療法の開発
阪口晃一、水田成彦、鉢嶺泰司、沢井清司、**中嶋啓雄**
第 12 回日本乳癌学会総会(小倉) (2004)

64. コアニードル生検（CNB）に基づいた境界病変の検討
阪口晃一、**中嶋啓雄**、水田成彦、鉢嶺泰司、沢井清司
第 48 回京滋乳癌研究会(京都) (2004)

65. E2F-4 の過剰発現によるアポトーシスの誘導
馬替純二、張英彩、ニコラス H.ハインツ、**中嶋啓雄**
第 13 回日本アポトーシス研究会学術集会(名古屋) (2004)

66. 抗癌剤抵抗性乳癌細胞に対するアスコクロリンの作用機序とその多様性について
中嶋啓雄、水田成彦、阪口晃一、馬替純二
第 13 回日本アポトーシス研究会学術集会(名古屋) (2004)

67. DCIS±micro invasion の乳癌症例に対するセンチネルリンパ節生検（SNB）の意義
中嶋啓雄、水田成彦、阪口晃一、沢井清司
第 36 回癌とリンパ節研究会(京都) (2004)

68. 鏡視下乳房温存手術施行症例（過去 6 年間）の遠隔成績と問題点
阪口晃一、水田成彦、沢井清司、**中嶋啓雄**
第 16 回乳腺内視鏡手術研究会(横浜) (2004)

69. 開閉式ドーム型吊り上げ鈎（HIROTECH®）の基本コンセプトと鏡視下乳腺手術における multiple benefits
中嶋啓雄
第 16 回乳腺内視鏡手術研究会(横浜) (2004)

70. 乳癌と鑑別困難であった dermatofibrosarcoma protuberans の 1 例
廣中愛、沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、小西英一、柳沢昭夫
第 2 回日本乳癌学会近畿地方会(京都) (2004)

71. 乳癌根治術 40 年後に発症した両側乳癌の 1 例
鈴木智之、沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 2 回日本乳癌学会近畿地方会(京都) (2004)

72. 高分解能 MR mammography の形態からみた質的診断能～造影パターンとの比較～
後藤真理子、伊藤博敏、山田惠、西村恒彦、沢井清司、**中嶋啓雄**
第 14 回日本乳癌画像研究会(横浜) (2005)

73. Vinorelbine の乳癌細胞に対するアポトーシスを介した抗腫瘍効果
阪口晃一、水田成彦、**中嶋啓雄**
第 105 回日本外科学会総会(名古屋) (2005)

74. 局所進行乳癌に対する Paclitaxel weekly neoadjuvant 化学療法の治療効果と毒性に関する検討
水田成彦、阪口晃一、**中嶋啓雄**
第 105 回日本外科学会総会(名古屋) (2005)

75. 5mm スライスＣＴ検査とセンチネルリンパ節生検の併用によるリンパ節郭清の省略
沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 13 回日本乳癌学会総会(倉敷) (2005)

76. 局所麻酔による乳癌根治術の検討
鉢嶺泰司、沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一
第 13 回日本乳癌学会総会(倉敷) (2005)

77. 当院における neoadjuvant 化学療法の治療効果と毒性に関する検討
水田成彦、阪口晃一、**中嶋啓雄**
第 13 回日本乳癌学会総会(倉敷) (2005)

78. ステレオガイド下マンモトーム生検１３０例の経験
阪口晃一、大江信哉、鉢嶺泰司、水田成彦、**中嶋啓雄**
第 13 回日本乳癌学会総会(倉敷) (2005)

79. 良性乳腺腫瘍に対する鏡視下手術の検討
広中愛、沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 13 回日本乳癌学会総会(倉敷) (2005)

80. HIROTECH®-system（開閉式ドーム型吊り上げ鈎＋フレキシブル 3CCDrigid-scope）による鏡視下乳房温存手術の標準化の実現
中嶋啓雄、阪口晃一、水田成彦、鉢嶺泰司、沢井清司
第 17 回日本乳腺内視鏡手術研究会(倉敷) (2005)

81. Akt を分子標的とした抗癌剤抵抗性乳癌に対する新たな治療戦略
水田成彦、阪口晃一、馬替純二、**中嶋啓雄**
第 14 回日本アポトーシス研究会(倉敷) (2005)

82. アスコクロリン（ASC）によるエストロゲンレセプター陰性（ER-）乳癌に対する選択的細胞傷害
中嶋啓雄、水田成彦、阪口晃一、馬替純二
第 14 回日本アポトーシス研究会(倉敷) (2005)

83. アスコクロリン（ASC）によるエストロゲンレセプター陰性（ER-）乳癌に対する選択的細胞傷害
水田成彦、阪口晃一、**中嶋啓雄**
第 14 回近畿 Breast Cancer Research Conference (大阪) (2005)

84. 一般女性の乳癌自己触診に関する意識調査—資料添付型アンケートを実施して
原田早苗、岡田典子、奥田友子、武田和夫、**中嶋啓雄**、沢井清司
第 15 回日本乳癌検診学会総会(京都) (2005)

85. ステレオガイド下マンモトーム生検 150 例の経験
阪口晃一、**中嶋啓雄**、鉢嶺泰司、水田成彦、大江信哉、沢井清司
第 15 回日本乳癌検診学会総会(京都) (2005)

86. マンモグラフィーでカテゴリー5 と診断された顆粒細胞腫の 1 例
中務克彦、沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 15 回日本乳癌検診学会総会(京都) (2005)

87. 2 期再建乳房の整容性評価法
西野健一、沢井清司、**中嶋啓雄**、李哲柱
第 3 回日本乳癌学会近畿地方会(大阪) (2005)

88. 吊り上げ法による鏡視下乳房温存手術の標準化に向けて—HIROTECH®-system の有用性—
中嶋啓雄
第 18 回乳腺内視鏡手術研究会(東京) (2005)

89. マンモグラフィーでカテゴリー5 と診断された顆粒細胞腫の 1 例
中務克彦、沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 1 回青洲カンファレンス(京都) (2006)

90. 当院でのマンモトーム生検の成績
崔聡仁、蔭山典男、**中嶋啓雄**
第 1 回青洲カンファレンス(京都) (2006)

91. 吊り上げ法による鏡視下乳房温存手術の標準化に向けて—HIROTECH®-system の有用性—
中嶋啓雄
第 14 回術後管理研究会(京都) (2006)

92. 当院における術前化学療法の治療効果と毒性に関する検討
水田成彦、**中嶋啓雄**、沢井清司、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 51 回京滋乳癌研究会(京都) (2006)

93. 鏡視下乳房温存手術 458 症例の長期成績，安全性と客観的評価
中嶋啓雄、阪口晃一、水田成彦、沢井清司
第 106 回日本外科学会総会(東京) (2006)
日本外科学会雑誌　107 臨時増刊号　192

94. アスコクロリン（ASC）によるエストロゲンレセプター陰性（ER-）乳癌に対する抗腫瘍効果の検討
阪口晃一、水田成彦、**中嶋啓雄**
第 106 回日本外科学会総会(東京) (2006)
日本外科学会雑誌　107 臨時増刊号　193

95. Akt を分子標的とした抗癌剤抵抗性乳癌に対する新たな治療戦略
水田成彦、阪口晃一、**中嶋啓雄**
第 106 回日本外科学会総会(東京) (2006)
日本外科学会雑誌　107 臨時増刊号　194

96. マンモトーム生検後の局所麻酔による乳腺部分切除術＋センチネルリンパ節生検
沢井清司、中務克彦、小林文、鉢嶺泰司、阪口晃一、水田成彦、**中嶋啓雄**
第 14 回日本乳癌学会(金沢) (2006)

97. HIROTECH-system（開閉式ドーム型吊り上げ鈎＋3CCDscope）による鏡視下乳房温存手術の標準化の実現
中嶋啓雄、阪口晃一、水田成彦、沢井清司
第 14 回日本乳癌学会(金沢) (2006)

98. Akt を分子標的とした抗癌剤抵抗性乳癌に対する新たな治療戦略
水田成彦、阪口晃一、**中嶋啓雄**
第 14 回日本乳癌学会(金沢) (2006)

99. Paclitaxel 抵抗性乳癌に対する分子標的治療の開発に向けて
阪口晃一、水田成彦、**中嶋啓雄**
第 14 回日本乳癌学会(金沢) (2006)

100. 鏡視下乳房温存手術 458 症例の長期成績と相対的評価
小林文、**中嶋啓雄**、中務克彦、鉢嶺泰司、阪口晃一、水田成彦、沢井清司
第 14 回日本乳癌学会(金沢) (2006)

101. 術前診断広範囲 DCIS に対して LH-RH agonist+Tamoxifen による術前ホルモン療法を試みた 1 例
中務克彦、**中嶋啓雄**、阪口晃一、水田成彦、鉢嶺泰司、小林文、沢井清司
第 14 回日本乳癌学会(金沢) (2006)

102. AC 及び Weekly　Paclitaxel 療法で Long　SD を得た炎症性乳癌の 1 例
小林文、**中嶋啓雄**、阪口晃一、沢井清司、藤原郁也、水田成彦、鉢嶺泰司、中務克彦
第 52 回京滋乳癌研究会(京都) (2006)

103. 集学的治療で ADL の改善をし得た若年者進行乳癌の１例
小林文、沢井清司、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦
第４回日本乳癌学会近畿地方会(和歌山) (2006)

104. T2N0 乳癌に対するセンチネルリンパ節生検（SLNB)の妥当性
藤原郁也、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、小林文、沢井清司
第４回日本乳癌学会近畿地方会(和歌山) (2006)

105. Primary Systemic Therapy（PST)前に行う局所麻酔下のセンチネルリンパ節生検の試み
中務克彦、**中嶋啓雄**、沢井清司、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、小林文
第４回日本乳癌学会近畿地方会(和歌山) (2006)

106. 第 1 回京都ピンクリボンフェスティバルにおける無料乳癌検診の成績
小林文、沢井清司、**中嶋啓雄**、蔭山典男、竹田靖、大江信哉、加藤誠、市田美保、廣中愛
第 16 回日本乳癌検診学会(仙台) (2006)

107. マンモトームで over diagnosis された DCIS の一例
中務克彦、**中嶋啓雄**、沢井清司、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、小林文
第 16 回日本乳癌検診学会(仙台) (2006)

108. T2N0 乳癌に対するセンチネルリンパ節生検の妥当性
藤原郁也、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、小林文
第 8 回 Sentinel Node Navigation Surgery 研究会学術集会(東京) (2006)

109. センチネルリンパ節生検(SLNB)のよる腋窩リンパ節郭清(ALND)省略例の遠隔成績
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、小林文
第 8 回 Sentinel Node Navigation Surgery 研究会学術集会(東京) (2006)

110. 術前化学療法（PST）後の鏡視下乳房温存手術の検討
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 20 回乳腺内視鏡外科研究会(京都) (2006)

111. び慢性肝転移をきたした乳癌の１例
蔭山典男、大西一嘉、玉井秀政、**中嶋啓雄**
第 2 回青洲カンファレンス. (2007)

112. TS- 1 と Trastuzumab との併用療法が奏功した多剤耐性再発乳癌の 1 例
水田成彦、中務克彦、小林文、鉢嶺泰司、阪口晃一、藤原郁也、**中嶋啓雄**.
第 2 回青洲カンファレンス. (2007)

113. PST(primary systemic therapy)前のセンチネルリンパ節生検(SLNB)の意義と治療成績
藤原郁也、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、小林文
第 19 回関西乳癌放射線治療研究会(京都) (2007)

114. 非浸潤成分主体のアポクリン癌の一例
小林文、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦
第 53 回京滋乳癌研究会(京都) (2007)

115. 乳癌脳転移に対し paclitaxel＋capecitabine が奏効した一例
中務克彦、**中嶋啓雄**、小林文、鉢嶺泰司、阪口晃一、水田成彦、藤原郁也
第 53 回京滋乳癌研究会(京都) (2007)

116. 授乳中に増大を認めた多発乳腺腫瘤の一例
後藤眞理子、結縁幸子、伊藤博敏、西村恒彦、**中嶋啓雄**
第 16 回日本乳癌画像研究会（東京） (2007)

117. TS-1 と Trastuzumab との併用療法が奏効した多剤耐性再発乳癌の 1 例
水田成彦、**中嶋啓雄**、藤原郁也、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 32 回乳癌懇話会 (2007)

118. 低線量率ガンマ線の連続照射によるⅡ型糖尿病改善効果
馬替純二、石井源一郎、滝景子、敦賀美恵、佐々木百合恵、古川智春、杉原崇、野村崇治、落合淳志、**中嶋啓雄**
第 16 回日本アポトーシス研究会学術集会 (2007)

119. 内視鏡下乳房温存手術における皮切部位の工夫
阪口晃一、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、鉢嶺泰司、中務克彦、小林文
第 32 回日本外科系連合学会学術集会 (2007)

120. PST(primary systemic therapy)前のセンチネルリンパ節生検(SLNB)の意義と治療成績
藤原郁也、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、小林文
第 32 回日本外科系連合学会学術集会. (2007)

121. 当院における PST 症例の治療効果と毒性に関する解析.
水田成彦、**中嶋啓雄**、藤原郁也、阪口晃一.
第 32 回日本外科系連合学会学術集会 (2007)

122. 広背筋皮弁を用いた乳房再建法
中嶋啓雄
第 21 回乳腺内視鏡手術研究会. (2007)

123. PST 症例の各レジメンにおける治療効果と毒性に関する解析
水田成彦、**中嶋啓雄**、藤原郁也、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、小林文
第 15 回日本乳癌学会学術総会. (2007)

124. T2NO 乳癌に対するセンチネルリンパ節生検の妥当性.
小林文、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦
第 15 回日本乳癌学会学術総会. (2007)

125. 非侵潤性乳管癌の造影 MRI 診断：浸潤の推定は可能か？
後藤眞理子、結縁幸子、西村恒彦、**中嶋啓雄**
第 15 回日本乳癌学会学術総会. (2007)

126. MRI による皮膚側・深部側断端陽性の危険予測についての検討
結縁幸子、後藤眞理子、西村恒彦、**中嶋啓雄**
第 15 回日本乳癌学会学術総会 (2007)

127. 若年者乳癌に対する治療成績から解析した早期発見の重要性
阪口晃一、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、鉢嶺泰司、小林文、中務克彦
第 15 回日本乳癌学会学術総会 (2007)

128. PST(primary systemic therapy)後の鏡視下乳房温存手術症例の検討
藤原郁也、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、小林文、中務克彦
第 15 回日本乳癌学会学術総会 (2007)

129. Paclitaxel と Trastuzumab の併用投与により長期 CR が得られた転移性乳癌の一例
中務克彦、**中嶋啓雄**、水田成彦、藤原郁也、阪口晃一、鉢嶺泰司、小林文
第 15 回日本乳癌学会学術総会 (2007)

130. 早期乳癌治療を目的とした水冷式 MWA(Micro Wave Ablation)システムの開発
中嶋啓雄、水田成彦、藤原郁也、阪口晃一
第 3 回乳癌低侵襲治療研究会 (2007)

131. T2N0 乳癌に対する対するセンチネルリンパ節生検の妥当性.
中務克彦、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、市田美保、小林文
第 54 回京滋乳癌研究会 (2007)

132. T2N0 乳癌に対する対するセンチネルリンパ節生検の妥当性.
藤原郁也、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、市田美保
第 45 回日本癌治療学会総会. (2007)

133. センチネルリンパ節生検（SLNB)による腋窩リンパ節郭清（ALND）省略例の遠隔成績
水田成彦、**中嶋啓雄**、藤原郁也、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、市田美保
第 39 回癌とリンパ節研究会 (2007)

134. 乳癌のセンチネルリンパ節生検（SLNB)による腋窩リンパ節郭清（ALND）省略の長期成績
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、市田美保
第 9 回 Sentinel Node Navigation Surgery 研究会学術集会 (2007)

135. PST(primary systematic therapy)後に鏡視下乳房温存手術が可能となった 47 例の治療成績.
藤原郁也、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、小林文.
第 20 回日本内視鏡外科学会総会. (2007)

136. マンモグラフィ検診受診率５０%を達成するためのピンクリボン京都の活動
蔭山典男、沢井清司、**中嶋啓雄**、戸井雅和、西田直子
第 17 回日本乳癌検診学会総会. (2007)

137. ステレオガイド下マンモトーム生検 400 例の経験と手技
阪口晃一、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、鉢嶺泰司、市田美保、中務克彦、正木綾.
第 17 回日本乳癌検診学会総会. (2007)

138. 若年者乳癌に対する治療成績から解析した早期発見の重要性.
水田成彦、藤原郁也、阪口晃一、鉢嶺泰司、市田美保、中務克彦、**中嶋啓雄**
第 17 回日本乳癌検診学会総会. (2007)

139. 京都市の検診マンモグラフィーにおけるＡ判定医とＢ判定医の読影能力の差の調査
芳林浩史、蔭山典男、沢井清司、大江信哉、梅原誠、大西勉、柏木智博、藤原康典、小谷達也、田中宏樹、冨士原正人、金尾昌太郎、**中嶋啓雄**、松井道宣、畑雅之
第 17 回日本乳癌検診学会総会. (2007)

140. 京都府におけるマンモグラフィ検診の現状と受診率向上への取り組み
蔭山典男、沢井清司、**中嶋啓雄**、大江信哉、梅原誠、大西勉、柏木智博、藤原康典、小谷達也、田中宏樹、冨士原正人、芳林浩史、金尾昌太郎、畑雅之
第 17 回日本乳癌検診学会総会. (2007)

141. 日帰り局所麻酔下乳癌根治術の検討
藤原郁也、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、市田美保.
第 69 回日本臨床外科学会総会. (2007)

142. 乳癌のセンチネルリンパ節生検（SLNB）による腋窩リンパ節郭清（ALND）省略の長期成績
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、市田美保.
第 69 回日本臨床外科学会総会. (2007)

143. 分子標的治療の基礎と臨床　HER2 分子を標的とした新規抗腫瘍薬剤の in silico 分子設計
中嶋啓雄、田沼靖一、水野成彦、藤原郁也、阪口晃一
第 15 回日本臨床外科学会総会 (2007)

144. 分子標的治療の現状と展望　in silico 分子設計による HER2　reactive peptide(HRAP)と Paclitaxel(PTX)の相乗効果とその分子機序
中嶋啓雄、田沼靖一、水野成彦、藤原郁也、阪口晃一
第 16 回日本臨床外科学会総会 (2008)

145. 良性葉状腫瘍に浸潤癌を合併した一例
中務克彦、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、、市田美保、
第 3 回青洲カンファレンス. (2008)

146. ステレオガイド下マンモトーム生検の成績.
太陽宏明、大西一嘉、蔭山典男、**中嶋啓雄**
第 55 回京滋乳癌研究会. (2008)

147. 乳腺葉状腫瘍外に発生した浸潤性乳癌の一例.
中務克彦、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、市田美保.
第 55 回京滋乳癌研究会. (2008)

148.乳癌に対する PST（primary systematic thetapy)後の乳房温存手術の検討.
中嶋啓雄.
第 33 回乳癌懇話会「乳癌の初期治療」 (2008)

149. HER2 分子を標的とした新規抗腫瘍薬剤の in silico 分子設計とその機序.
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦.
第 108 回日本外科学会定期学術集会. (2008)

150. 免疫組織化学染色によるエストロゲンレセプターと HER2 発現からみた､乳癌の予後に関する検討.
藤原郁也、**中嶋啓雄**、
第 108 回日本外科学会定期学術集会. (2008)

151. リンパ節転移性Ｔ２乳癌でセンチネルリンパ節生検による腋窩リンパ節郭清省略は可能か.
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司.
第 33 回日本外科系連合学会. (2008)

152. 日帰り局所麻酔下乳癌根治術の検討.
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司.
第 33 回日本外科系連合学会. (2008)

153. HER2 分子を標的とした新規抗腫瘍薬剤の in silico 分子設計とその機序.
中嶋啓雄、水田成彦、阪口晃一、藤原郁也.
第 17 回日本アポトーシス研究会学術集会. (2008)

154. *In silico* 分子設計による HER2reactive peptide(HRAP)と pactlitaxel(PTX)の
相乗効果とその分子機序.
中嶋啓雄.
第 16 回日本乳癌学会学術総会. (2008)

155. 乳頭異常分泌を契機に発見された男性非浸潤性乳癌（DCIS）の一例.
大橋まひろ、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、市田美保.
第 56 回京滋乳癌研究会. (2008)

156. タモキシフェン効果予知因子としてのメニンの有用性.
山内清昭、紺谷桂一、曹雪源、藤原郁也、**中嶋啓雄**、山下啓子、河野範男、岩瀬弘敬.
第 56 回京滋乳癌研究会. (2008)

157. 乳癌に対するセンチネルリンパ節生検後の腋窩リンパ節再発例の検討.
藤原郁也、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、市田美保、大橋まひろ、小西英一、
柳澤昭夫. 第 10 回 SNNS 研究会学術集会. (2008)

158. 日帰り局所麻酔下乳癌根治術の検討.
中務克彦、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、市田美保、大橋まひろ.
第 16 回日本乳癌学会学術総会. (2008)

159. ハーセプチンを含む術前化学療法における治療効果と毒性に関する解析.
市田美保、水田成彦、鉢嶺泰司、阪口晃一、藤原郁也、**中嶋啓雄**.
第 16 回日本乳癌学会学術総会. (2008)

160. トリプルネガティブ乳癌における Placliitaxel 耐性獲得に関する Ap-1family の役割.
水田成彦、**中嶋啓雄**、市田美保、鉢嶺泰司、阪口晃一、藤原郁也.
第 16 回日本乳癌学会学術総会. (2008)

161. in silico 分子設計による HER2reactive peptide(HRAP)と pactlitaxel(PTX)の相乗効果とその分子機序.
中嶋啓雄、田沼靖一、水田成彦、藤原郁也、阪口晃一.
第 16 回日本乳癌学会学術総会. (2008)

162. ホルモンレセプターと HER2 発現からみた乳癌の予後の検討.
藤原郁也、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、中務克彦、市田美保、大橋まひろ.
第 16 回日本乳癌学会学術総会. (2008)

163. 一般演題-座長.
中嶋啓雄.
第 16 回日本乳癌学会学術総会. (2008)

164. ステレオガイド下マンモトーム生検（MMT）の経験と工夫.
大橋まひろ、**中嶋啓雄**、阪口晃一、藤原郁也、水田成彦、鉢嶺泰司、市田美保、中務克彦.
第 16 回日本乳癌学会学術総会. (2008)

165. リンパ節転移性Ｔ２乳癌においてセンチネルリンパ節生検に基づく腋窩リンパ節郭清省略は可能か.
阪口晃一、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、鉢嶺泰司、中務克彦、市田美保、大橋まひろ.
第 16 回日本乳癌学会学術総会. (2008)

166. 乳癌術前化学療法後の造影 MRI 診断－Trastuzumab 併用・非併用例の対比.
後藤眞理子、結縁幸子、西村恒彦、水田成彦、藤原郁也、**中嶋啓雄**.
第 16 回日本乳癌学会学術総会. (2008)

167. MRI 拡散画像による乳癌のより良い描写に関する検討.
結縁幸子、後藤眞理子、西村恒彦、**中嶋啓雄**.
第 16 回日本乳癌学会学術総会. (2008)

168. 乳癌に対する内視鏡下 skin sparing partial mastectomy (VA-SSPM)と lattissimus dorsi muscle flap (LDMF)による乳房再建の長期成績.
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一.
第 22 回乳腺内視鏡手術研究会. (2008)

169. 鏡視下乳房温存手術（endoscopic breast conserving surgery：EBCS)の長期成績と今後の展望.
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、市田美保、大橋まひろ.
第 70 回日本臨床外科学会学術総会. (2008)

170. 一般演題-座長
中嶋啓雄.
第 70 回日本臨床外科学会学術総会. (2008)

171. 京都市における超音波併用乳がん検診の検討.
芳林浩史、蔭山典男、沢井清司、藤原康典、梅原誠、大江信哉、大西勉、柏木智博、小谷達也、田中宏樹、冨士原正人、金尾昌太郎、**中嶋啓雄**、戸井雅和、松井道宜.
第 18 回日本乳癌検診学会総会. (2008)

172. 精査機関と検診機関の連携を図るための京都府医師会の取り組みと問題点.
陰山典男、沢井清司、藤原康典、梅原誠、大西勉、柏木智博、小谷達也、田中宏樹、冨士原正人、大江信哉、芳林浩史、金尾昌太郎、**中嶋啓雄**、松井道宜.
第 18 回日本乳癌検診学会総会. (2008)

173. 高齢者の視触診を省略した乳癌集団検診の試み.
小谷達也、蔭山典男、沢井清司、藤原康典、大江信哉、梅原誠、大西勉、柏木智博、田中宏樹、冨士原正人、芳林浩史、金尾昌太郎、**中嶋啓雄**、松井道宜.
第 18 回日本乳癌検診学会総会. (2008)

174. マンモトーム生検におけるマイクロマークの重要性～マンモトーム生検 500 例の経験から.
阪口晃一、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、鉢嶺泰司、市田美保、大橋まひろ、正木綾、秋山祐子.
第 18 回日本乳癌検診学会総会 (2008)

175. ピンクリボン京都 2008 の活動について.
蔭山典男、沢井清司、西山直子、畑山博、戸井雅和、**中嶋啓雄**、李哲柱、藤井宏二、森口喜生、杉江知治
第 18 回日本乳癌検診学会総会. (2008)

176. 内視鏡下乳房温存手術における皮切部位の工夫.
大橋まひろ、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、市田美保
第 4 回青洲カンファレンス. 1 月 18 日；京都. (2009)

177. 進行再発乳癌に対する当院における TS-1 の使用成績
水田成彦、**中嶋啓雄**、藤原郁也、阪口晃一、鉢嶺泰司、市田美保、大橋まひろ.
第 4 回青洲カンファレンス. 1 月 18 日；京都. (2009)

178. トラスツズマブとレトロゾールの併用療法が著功した原発性乳癌の一例
大橋まひろ、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、市田美保
第 5 回京滋乳癌研究会. 3 月 21 日；京都. (2009)

179. 内視鏡下乳房温存手術（video-assisted breast conserving surgery：VA-BCS)と自家組織による乳房再建術の長期成績
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司
第 109 回日本外科学会総会. 4 月 3 日；福岡. (2009)

180. 乳癌に対するセンチネルリンパ節生検（ＳＬＮＢ）後の腋窩リンパ節郭清（ＡＬＮＤ）省略.
鉢嶺泰司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、大橋まひろ、藤原郁也
第 109 回日本外科学会総会. 4 月 3 日；福岡. (2009)

181. 術前化学療法（PST）レジメンにおける治療効果、毒性および予後に関する解析
水田成彦、**中嶋啓雄**、藤原郁也、阪口晃一、鉢嶺泰司、大橋まひろ
第 109 回日本外科学会総会 4 月 3 日；福岡. (2009)

182. トラスツズマブとトレゾールの併用療法が著効した原発性乳癌の一例
大橋まひろ、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、市田美保.
第 17 回日本乳癌学会総会. 7 月 3 日；東京. (2009)

183. 進行再発乳癌に対する当院における TS-1 の使用成績
水田成彦、**中嶋啓雄**、藤原郁也、阪口晃一、鉢嶺泰司、市田美保、大橋まひろ.
第 17 回日本乳癌学会総会. 7 月 3 日；東京. (2009)

184. 内視鏡下乳房温存手術と自家組織による乳房再建術の長期成績
阪口晃一、**中嶋啓雄**、藤原郁也、水田成彦、鉢嶺泰司、市田美保、大橋まひろ.
第 17 回日本乳癌学会総会. 7 月 4 日；東京. (2009)

185. 乳房の整容性　乳癌に対する内視鏡下乳房温存術と広背筋弁による乳房再建の長期成績
中嶋啓雄、藤原郁也、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、市田美保、大橋まひろ
第 17 回日本乳癌学会総会　7 月 4 日;東京　(2009)

186. 乳癌に対するセンチネルリンパ節生検（SLNB)後の腋窩リンパ節郭清（ALND)省略後の ALN 再発例の検討
藤原郁也、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司、市田美保、大橋まひろ.
第 17 回日本乳癌学会総会.　7 月 4 日；東京.　(2009)

187. 新規分子標的治療薬の解析
市田美保、水田成彦、大橋まひろ、鉢嶺泰司、阪口晃一、藤原郁也、**中嶋啓雄**.
第 17 回日本乳癌学会総会.　7 月 4 日；東京.　(2009)

188. MRI T1 強調像で腫瘍内部に出血を疑う高信号を認めた乳腺良性腫瘍の検討
後藤眞理子、結縁幸子、中嶋啓雄、西村恒彦
第 17 回日本乳癌学会学術総会（東京）　(2009)

189. 葉状腫瘍の内外に非浸潤性および浸潤性小葉癌が合併した興味ある一例
中嶋啓雄、木下一夫
第 20 回日本乳癌学会総会　6 月 28 日：熊本　(2012)

190. 微小管阻害剤ナベルビンによるトリプルネガティブ乳癌の細胞株　MX-1 のアポトーシス誘導機構
中嶋啓雄、馬替純二
第 21 回日本乳癌学会総会　6 月 27 日:浜松　(2013)

191. Ascofranone Suppresses HIF-1α and Tumor Angiogenesis Induced by EGF in Human Breast Cancer Cells
中嶋啓雄、Jeong Yun-Jeong, Shin Jae-Moon,　馬替純二,　Chang young-Chae
第 22 回日本乳癌学会総会.　7 月 12 日;大阪　(2014)

192. アスコフラノンによるトリプルネガティブ乳がん細胞の HIF-1 制御機構の解析
中嶋啓雄、馬替純二,　Chang young-Chae
第 23 回日本乳癌学会総会.　7 月 2 日；東京.　(2015)

193. 微小管阻害剤は細胞周期制御機構の破綻を標的として TNBC に治療効果を発現する
中嶋啓雄、馬替純二
第 24 回日本乳癌学会総会.　6 月 16 日；東京.　(2016)

194. 微小管阻害剤ナベルビンによるトリプルネガティブ乳がん細胞株 MX-1 の アポトーシス誘導機構の解析
中嶋啓雄、馬替純二
第 25 回日本乳癌学会総会.　7 月 13 日；福岡　(2017)

195. トリプルネガティブ乳がん細胞株 MX-1 と血球性細胞のナベルビンによる アポトーシス誘導機構の比較
中嶋啓雄、馬替純二
第 26 回日本乳癌学会総会.　5 月 16 日；京都　(2018)

196. TNBC を制御するアスコクロリン類縁物質のミトコンドリア機能に対する影響
中嶋啓雄、馬替純二
第 27 回日本乳癌学会総会.　7 月 11 日；東京　(2019)

197. アスコクリン類似物質による HIF-1α制御機構の解析
中嶋啓雄、馬替純二
第 28 回日本乳癌学会総会　10 月 9 日；Web 開催　(2020)

198. HEMES(HyperEye MedicalSystem)を用いた系統的な乳管腺葉区域切除術(DLS)
中嶋啓雄
第 29 回日本乳癌学会総会　7 月 1 日；横浜　(2021)

199. 「HIROTECH-LED」-system を用いた小切開・明視野・整容性の高い乳癌手術
中嶋啓雄、坂井昇道、平野博嗣
第 30 回日本乳癌学会学術総会　6 月 30 日：横浜　(2022)

200. 乳房に発生した脂肪腫内高分化型脂肪肉腫の 1 例
中嶋啓雄、柴田 信博 、坂井 昇道 、岸 真五、安次富 駿介
第 31 回日本乳癌学会学術総会　6 月 29 日；横浜　(2023)

201. 両側乳癌に対してトモセラピーを用いて術後放射線治療を施行した 4 例
中嶋啓雄、永野史子、坂井昇道、柴田信博、髙橋正秀、小川和彦、小泉雅彦
第 31 回日本乳癌学会学術総会　6 月 29 日；横浜　(2023)

202. BI-RADS-MRI のカテゴリー分類の再考と精度管理から見えてきた縮小手術への応用
中嶋啓雄、髙橋正秀、坂井昇道、柴田信博
第 31 回日本乳癌学会学術総会　6 月 29 日；横浜　(2023)

203. 葉状腫瘍の悪性転化おける EMT(上皮間葉転換)関連タンパク質の免疫組織学的発現解析
乳房に発生した脂肪腫内高分化型脂肪肉腫の 1 例
中嶋啓雄、柴田信博、坂井昇道、藤原郁也、高田正泰、平野博嗣
第 31 回日本乳癌学会学術総会　6 月 29 日；横浜　(2023)

204. 一般演題－座長
中嶋啓雄
第 33 回日本乳癌検診学会学術総会　(2023)

205.「MRI+CT+PET-CT」検査の意義と有用性
土屋璃華、**中嶋啓雄**、坂井昇道、阪口友里恵、古家賢治
第 33 回日本乳癌検診学会学術総会　11 月 24 日；福岡　(2023)

206. マンモグラフィで異常所見が指摘されず乳房 MRI 検査にて乳がんの診断が得られた
症例の検討と解析
阪口友里恵、**中嶋啓雄**、坂井昇道、土屋璃華、古家賢治
第 33 回日本乳癌検診学会学術総会　11 月 24 日；福岡　(2023)

207. Cost versus benefit (費用対効果)を考慮した小切開・再現性の高い
オンコプラスティックサージェリー
中嶋啓雄
第 32 回日本乳癌学会学術総会　7 月 11 日；仙台　(2024)

208. 非ヒストン DNA 結合蛋白、HMGB2 の乳がんにおける発現と機能についての検討
岸真伍、緒方瑠衣子、**中嶋啓雄**、西澤恭子、笹川覚、坂井昇道、國安弘基
第 32 回日本乳癌学会学術総会　7 月 11 日；仙台　(2024)

209. 強度変調放射線治療（IMRT）を用いた乳がん術後照射における通常分割照射と
寡分割照射の比較検討
永野史子、**中嶋啓雄**、坂井昇道、小川和彦、小泉雅彦
第 32 回日本乳癌学会学術総会　7 月 11 日；仙台　(2024)

210. 乳癌の Stage 診断で施行した PET/CT にて発見された GIST と乳癌の重複がん症例
安次富駿介、**中嶋啓雄**、岸真伍
第 32 回日本乳癌学会学術総会　7 月 11 日；仙台　(2024)

D-5）主催した学会、研究会、講習会

1. 第 48 回京滋乳癌研究会
   当番世話人　2004.7.17(京都)　(2004)

2. 第 16 回乳腺内視鏡手術研究会
   当番世話人　2004.11.24(横浜)　(2004)

3. 第 14 回近畿 Breast Cancer Research Conference
   当番世話人　2005.9.3(大阪)　(2005)

4. 第 8 回京都マンモグラフィ講習会
   実行委員長　2005.11.26-27, 12.10-11(京都)　(2005)

5. 第 9 回滋賀京都マンモグラフィ勉強会
   当番世話人　2006.7.13(京都)　(2006)

6. 第 15 回日本アポトーシス研究会学術集会
   年会頭　2006.7.28-29(京都)　(2006)

7. 第 8 回京滋乳腺画像・病理カンファレンス
   当番世話人　2006.10.7(京都)　(2006)

8. 第 9 回京都マンモグラフィ講習会
   実行委員長　2007.2.3-4(京都)　(2007)

D-6）各種講習会の講師

1. 第 2 回京都マンモグラフィ講習会
   グループ講習：石灰化 2（悪性）
   2000.10.21-22(京都) (2000)

2. 第 5 回京都マンモグラフィ講習会
   全体講義Ⅶ：乳がんの臨床
   グループ講習：石灰化 2（悪性）
   2003.3.21-22(京都) (2003)

3. 第 6 回京都マンモグラフィ講習会
   全体講義Ⅶ：乳がんの臨床
   グループ講習：石灰化 1（良性）
   2004.3.6-7(京都) (2004)

4. 第 7 回京都マンモグラフィ講習会
   全体講義Ⅶ：乳癌の臨床
   グループ講習：石灰化 1
   2005.3.12-13(京都) (2005)

5. 第 8 回京都マンモグラフィ講習会
   全体講義Ⅴ：マンモグラフィにおける石灰化の読影，全体講義Ⅶ：乳がんの臨床
   グループ講習：石灰化 1
   2005.11.26-27(京都) (2005)

6. 第 9 回京都マンモグラフィ講習会
   全体講義 2：乳癌の臨床
   グループ講習：石灰化 1
   2007.2.3-4(京都) (2007)

7. 第 10 回京都マンモグラフィ講習会
   全体講義 1：乳がん検診へのマンモグラフィ導入と精度管理
   2007.10.20-21（京都） (2007)

8. 第 10 回京都マンモグラフィ講習会
   全体講義 2：乳がんの臨床
   2007.10.20-21（京都） (2007)

9. 第 10 回京都マンモグラフィ講習会
   グループ講習：石灰化 1
   2007.10.20-21（京都） (2007)

10. 第 11 回京都マンモグラフィ講習会
    実行委員長.
    2008.11.23-24 日（京都） (2008)

11. 第 11 回京都マンモグラフィ講習会.
    全体講義 2：乳がんの臨床.
    2008.11.23-24 日（京都） (2008)

12. 第 11 回京都マンモグラフィ講習会
    グループ講習講習：石灰化 2.
    2008.11.23-24 日（京都） (2008)

E）医学情報誌・新聞掲載・医療講演

1. In situ apoptosis detection kit を用いたアポトーシスの検出例
   中嶋啓雄
   BIO VIEW　21　16　(1997)

2. 血流再開時の傷害を防ぐ抗体の発見　心筋こうそく治療
   中嶋啓雄
   讀売新聞　朝刊　1998.12. 5　(1998)

3. Fas 中和抗体の虚血再灌流障害の治療への有効性を証明
   中嶋啓雄
   日経バイオテクノロジー　1998.12. 21　(1998)

4. 内分泌・乳腺外科　平成 13 年度　臨床実習マニュアル(共)
   京都府立医科大学　内分泌・乳腺外科
   沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一　(2001)

5. 京都府立医科大学　内分泌・乳腺外科　臨床実習マニュアル改訂第 2 版(共)
   京都府立医科大学　内分泌・乳腺外科
   沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰司　(2003)

6. 最新の乳房温存手術！！　進歩する鏡視下乳房温存手術
   中嶋啓雄
   Japan Medicine　583　8 月 11 日　7　(2003)

7. 京都府立医科大学　内分泌・乳腺外科　臨床実習マニュアル改訂第 3 版(共)
   京都府立医科大学　内分泌・乳腺外科
   沢井清司、**中嶋啓雄**、水田成彦、阪口晃一、鉢嶺泰 1-135　(2004)

8. 早期発見と適切な治療がカギ　女性として、母として乳がんを考える
   ～あたりまえの生活のために～Living Women's Seminar を開催しました
   中嶋啓雄、沢井清司、三瀬圭一、李哲柱、稲本俊
   リビング京都・東南　1284　7 月 9 日　4　(2005)

9. “ もしもの時 ”に備えて知っておきたい、乳がん治療の今
   「乳がん市民公開フォーラム in 京都～乳がん治療のガイドラインについて～」
   中嶋啓雄、沢井清司、高塚雄一、光森通英　(2005)

10. 教えてドクター！「乳がんの治療編　手術から術後の検診まで
    定期的な検診と適切な診断で早期発見・早期治療を
    中嶋啓雄
    リビング京都・西南　1355　1 月 27 日　5　(2007)

11. 教えてドクター！「乳がんの治療編　手術から術後の検診まで」
    定期的な検診と適切な診断で早期発見・早期治療を
    中嶋啓雄
    リビング京都・中央　1355　1 月 27 日　5　(2007)

12. 教えてドクター！「乳がんの治療編　手術から術後の検診まで」
    定期的な検診と適切な診断で早期発見・早期治療を
    中嶋啓雄
    リビング京都・東南　1359　2 月 24 日　13　(2007)

13. 教えてドクター！「乳がんの治療編　手術から術後の検診まで」
質の高い乳がん治療はよい病院選びがカギ
中嶋啓雄
リビング京都・西南　1359　2 月 24 日　5　(2007)

14. 教えてドクター！「乳がんの治療編　手術から術後の検診まで」
質の高い乳がん治療はよい病院選びがカギ
中嶋啓雄
リビング京都・中央　1359　2 月 24 日　5　(2007)

15. 教えてドクター！「乳がんの治療編　手術から術後の検診まで」
質の高い乳がん治療はよい病院選びがカギ
中嶋啓雄
リビング京都・東南　1361　3 月 10 日　14　(2007)

16. 早期発見で乳房の温存
中嶋啓雄
第 15 回日本がん検診・診断学会総会市民公開講座　がん検診による早期発見・治療の今
ーがん拠拠点病院としての京都府立医科大学の取り組みー　2007 年 9 月　(2007)

17. 外科学教室内分泌・乳腺外科部門.
中嶋啓雄
京都府立医科大学創立百三十五周年記念誌. 2007 年１0 月 31 日.
京都府立医科大学創立百三十五周年記念事業実行委員会.　(2007)

18. 今、乳がん患者に求める診断・治療・地域連携の最前線
中嶋啓雄
京都医報 1873
2007 年 11 月 15 日. 京都医報社　(2008)

19. 教えてドクター 乳がんの早期発見と早期治療の大切さ　適切な検診と診断で質の高い乳がん治療を
中嶋啓雄
リビング京都・中央　1402　2007 年１月 26 日.　(2008)

20. 教えてドクター 乳がんの早期発見と早期治療の大切さ　適切な検診と診断で質の高い乳がん治療を
中嶋啓雄
リビング京都・東南　1402　2007 年１月 26 日.　(2008)

21. 教えてドクター 乳がんの早期発見と早期治療の大切さ　適切な検診と診断で質の高い乳がん治療を
中嶋啓雄
リビング京都・西南　1402　2007 年１月 26 日.　(2008)

22. マンモグラフィって何？乳がん検診.
中嶋啓雄
読売ファミリー北版 No.1021　2008 年 2 月 13 日号. 2008 年 2 月 13 日.　(2008)

23. マンモグラフィって何？乳がん検診.
中嶋啓雄
読売ファミリー南版 No.1021　2008 年 2 月 13 日号. 2008 年 2 月 13 日.　(2008)

24. マンモグラフィって何？乳がん検診.
中嶋啓雄
読売ファミリー東版 No.1021　2008 年 2 月 13 日号. 2008 年 2 月 13 日.　(2008)

25. マンモグラフィって何？乳がん検診.
中嶋啓雄
読売ファミリー京滋版 No.1021　2008 年 2 月 13 日号．2008 年 2 月 13 日.　(2008)

26. マンモグラフィって何？乳がん検診.
中嶋啓雄
読売ファミリー阪神版 No.1021　2008 年 2 月 13 日号．2008 年 2 月 13 日.　(2008)

27. マンモグラフィって何？乳がん検診.
中嶋啓雄
読売ファミリー神戸版 No.1021　2008 年 2 月 13 日号．2008 年 2 月 13 日.　(2008)

28. マンモグラフィって何？乳がん検診.
中嶋啓雄
読売ファミリー大阪市内南版 No.1021　2008 年 2 月 13 日号．2008 年 2 月 13 日.　(2008)

29. 教えてドクター！「根治性と整容性を高める質の高い乳がん治療を」
中嶋啓雄
リビング京都・中央　1405　2007 年 2 月 16 日.　(2008)

30. 教えてドクター！「根治性と整容性を高める質の高い乳がん治療を」
中嶋啓雄
リビング京都・東南　1405　2007 年 2 月 16 日.　(2008)

31. 教えてドクター！「根治性と整容性を高める質の高い乳がん治療を」
中嶋啓雄
リビング京都・西南　1405　2007 年 2 月 16 日.　(2008)

32. （病院名・医師名掲載）乳がん情報の源　乳腺専門医のいる施設リスト.
中嶋啓雄、水田成彦、阪口晃一.
あなたらしく生き生きと生活するために　乳がん治療法＆ＱＯＬ最新情報.
2008 年 3 月 25 日．イカロス出版株式会社.　(2008)

33. 「今、乳がん患者が求める診断・治療・地域連携の最前線（2008）」.
労働衛生ジャーナル創健 11－9．2008 年 4 月 1 日．財団法人京都工場保険会.　(2008)

34. （病院名・医師名掲載）全国「女性のがん」21 名の名医−共通項は「むやみに切らない」「女性のがん」
名医リスト．**中嶋啓雄**.
女性自身 2347 号．2008 年４月８日．光文社　(2008)

35. （病院名・医師名掲載）がん　乳がん．困ったときの医者選び　関西.
中嶋啓雄
2008 年 4 月 15 日．南々社　(2008)

36. 閉経後乳癌治療におけるリュープリン
（3 ヶ月製剤によるホルモン療法と化学療法の比較：TABLE 試験）
2008 年 6 月．武田製薬工業株式会社　(2008)

37. 根治性と整容性の追求と力
中嶋啓雄
2022 年 4 月 4 日発刊 No.1332　徳州新聞　(2022)

38. 増加の一途をたどる乳がんについて
中嶋啓雄
2022 年 6 月 3 日　大東市立北条人権文化センター　(2022)

39. コミュニケーションの名医に　イシュラン “Warm30”(2022 年)で１位
中嶋啓雄
2023 年 5 月 15 日発刊 No.1389　徳州新聞　(2023)
.

40. 全国集計の science と experience
第 14 回日本乳癌検診学会全国集計報告（対象 2021 年度）
中嶋啓雄
2024 年 11 月 29 日　第 34 回日本乳癌検診学会　(2024)

41. 全国集計の science と experiemce
全国集計データを活用した分析報告：技師の観点を含めて
中嶋啓雄
2024 年 11 月 29 日　第 34 回の日本乳癌検診学会　(2024)